

Panasonic

SS画像無線伝送システム

取扱説明書

工事説明付き



送信機

受信機

品番 WJ-SST100/WJ-SSR100

技術基準適合証明品

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、SS画像無線伝送システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

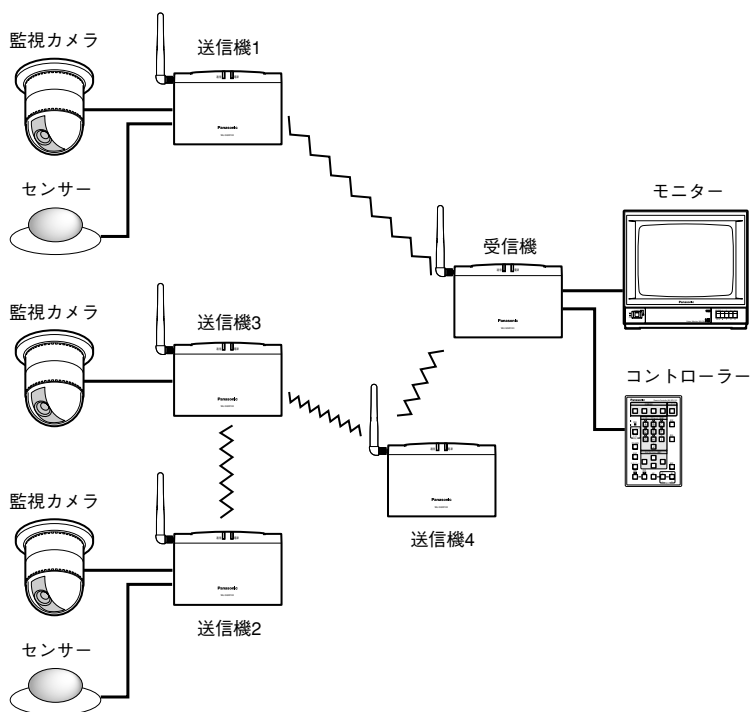
商品概要

システム概要

本機はカメラの映像を無線で送受信できる機器です。

本機を使った映像監視システムは、無線でカメラの映像をやりとりするため、大規模な配線工事などが不要となり、イベント会場や工事現場など一時的に監視システムを構築したい場合などに便利です。

本機を使ったシステム構成例を以下に示します。



本システムでは、受信機(WJ-SSR100)1台あたり最大4台までの送信機(WJ-SST100)を制御できます。送信機を中継機として使用し(送信機3、送信機4)、無線の伝送距離を延長することもできます。

また、本機の制御はコントローラー(WJ-SCU100: 別売り品)で行います。受信機にコントローラーを接続し、受信機、送信機、カメラの制御を行います。

特長

- **SS無線伝送方式^{※1}で映像・音声・データを実効距離約300m^{※2}まで無線伝送することが可能**

3.2MbpsのSS無線モデムと画像圧縮方式H.263(ITU規格)の採用により、高画質な映像を伝送できます。また、音声圧縮方式PCM(Pulse Code Modulation)の採用により、クリアな音声を送受信できます。

- **妨害に強い独自の通信方式を採用**

電子レンジやBluetooth™などの妨害を受けにくい独自通信方式(スーパーchirp^{※3})の採用により、マルチパス(反射波)による電波干渉や妨害に強く、安定した伝送が可能です。

- **送信機を中継機として使用することで伝送距離の延長が可能**

送信機を最大2段まで中継させることができます。

- **小型軽量**

小型軽量なので、仮設スペースでの使用に便利。また様々な場所に対応できるようになっています。

※1: SS(Spread Spectrum: スペクトラム拡散)無線伝送方式とは、一次変調された信号に特殊な符号を掛け合わせる(二次変調)ことで、周波数成分(スペクトラム)を広帯域に拡散させて伝送する通信方式です。

※2: 実効距離は、使用するチャンネルや通信状況によって短くなることがあります。

※3: 松下独自の通信方式です。Chirp信号で拡散した信号を受信側でサブバンド受信(Subband Reception)を行う方式で、従来のSS方式に比べて高速伝送時の耐マルチパス性と耐妨害性を飛躍的に向上させています。

付属品をご確認ください

ACアダプター	1	線材カバー	1
アンテナ	1	ゴム足	4
壁掛用金具	1	保証書	1
壁掛用金具取付ねじ	4	取扱説明書(本書)	1
本体用取付ねじ	3		

もくじ

はじめに

商品概要	2
安全上のご注意	8
使用上のお願い	13
各部の名前とはたらき(前面パネル)	16

準備

準備する	17
無線チャンネルを設定する	17
送信機番号を設定する(送信機・中継機のみ)	18
電源を入れる	19
送信機・中継機の設定を行う	20

操作

カメラの映像を見る(受信機のみ)	21
映像を自動的に切り換える(シーケンス)	22
モニターに情報を表示する	23
モニターに表示される情報について	23
表示のしかた	25
空きチャンネルを探索する (受信機のみ)	26
カメラの回転台・レンズを操作する (受信機のみ)	27
アラーム発生時の動作について	28

設定を行う29

設定メニュー一覧	29
基本的な操作のしかた	31
設定メニューについて	34
①スクランブルキー選択(KEY SELECT)	34
②システムID(SYSTEM ID)	34
③パスワード(PASSWORD)	35
④画像サイズ(VIDEO SIZE)	36
⑤画質(QUARITY)	36
⑥画像レート(VIDEO RATE)	36
⑦サブポート(SUB PORT)	36
⑧ボーレート(BAUD RATE)	37
⑨データビット(DATA BIT)	37
⑩パリティチェック(PARITY CHECK)	37
⑪ストップビット(STOP BIT)	37
⑫通信異常表示(COM.WARNING)	38
⑬映像自動切換時間(SEQ.TIME)	38
⑭アラーム出力時間(ALARM OUTPUT)	38
⑮送信機登録(REGISTRATION)	39
送信機の名称を入力する	42
設定内容を初期化する	43

カメラを設定する45

工事

工事説明	49
工事を始める前に	49
設置場所について	49
各部の名前(後面パネル)	50
送信機(WJ-SST100)	50
受信機(WJ-SSR100)	51
システム例	52
システムパターン	52
中継機を設けることのメリット	53
設置手順	54
送信機	54
送信機を中継機として使用する場合	55
受信機	55
スイッチの設定	56
設定スイッチの設定	56
無線チャンネル設定スイッチ・ 送信機番号設定スイッチ設定	58
接続のしかた	60
接続例1(カメラ1台使用)	60
接続例2(カメラを複数台使用)	62
システム接続例	64
専用コントローラーでカメラを操作する	64
システムコントローラー(WV-CU161)で 操作する	66
PS-Data対応コントローラーで 複数のカメラを操作する	68
アラーム・トリガー端子について	70
アラーム入出力の使いかた	70
接続例	70
アラーム入力について(送信機)	71

アラーム入力について	71
アラーム出力について(受信機)	71
復帰入力について(受信機)	72
トリガー出力の使いかた	73
接続例	73
トリガー出力について(送信機)	73
コントローラーとアンテナの接続	74
コントローラーの接続	74
アンテナの取り付けかた	74
設置のしかた	75
端子カバーの取り付けかた	75
壁面への取り付けかた	76

その他

別売り品について	77
故障かな!?	78
システム構築例と作業手順	86
SETUP MENU設定項目一覧	94
設定スイッチ設定項目一覧	95
仕様	96
保証とアフターサービス	98

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

警告

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

本機およびACアダプターをぬらさない



近くに、花瓶、コップなどを置かないでください。発火、感電の原因になります。

水ぬれ禁止

- ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

本機やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下によるけがの原因になります。

禁止

火気を近づけない



火災の原因になることがあります。

火気禁止

雷のときは工事配線しない



火災や感電の原因になります。

禁止

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

警告

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一型プラグ）以外は使用しない



禁止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります

ACアダプターを抜き差しするときは本体(金属でない部分)を持つ



感電の原因になります。

医用電気機器に近づけない
(手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まない)



禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠ 注意

可燃性雰囲気中で使用しない



禁止

爆発し、けがの原因となります。

振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所(調理台や加湿器のそばなど)に設置しない



水場使用禁止

本機を壁などに取り付けて使用するときには、堅固・確実に取り付ける



落下によりけがの原因になることがあります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

長時間使用しないときやお手入れするときには、必ずACアダプターをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

漏電・感電の原因になることがあります。

使用上のお願い

●本装置は2.4GHz帯域の電波を使用しています

- この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定の小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略する)が運用されています。

(1)本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

(2)万一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)について相談してください。

(3)その他、「他の無線局」に対して、電波干渉の事例が発生したなど何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

フリーダイヤル 0120-878-410

- 本装置は2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す

DS: 変調方式を示す(スーパージップ方式はDS方式の一種です)

4: 想定される干渉距離が40m以下であること

■ ■ ■: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

●技術基準適合証明ラベルについて

本機は電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器ごとに技術基準に適合していることを証明する証明ラベルがはられています。このラベルをむやみにはがしたり、傷を付けたらしないでください。

●傍受に気をつけてください

本機は傍受されにくい仕組みを入れていますが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受する可能性もあります。機密を要する場合は、スクランブルキー選択(KEY SELECT)を「MANUAL」に設定してお使いください。(→34ページ)

使用上のお願い

●妨害電波について

通信中に同じ周波数の妨害電波を受信すると、通信が切断されることがあります。

当社製品間でも同じ周波数を使用している場合、通信が不安定になり、切断されることがあります。

●アンテナの設置について

- 地面から2m以上高い位置に設置してください。アンテナの特性上、設置位置が低いと伝送距離が短くなります。
- 付属のアンテナは垂直偏波のため、水平方向に無指向の特性を持っていますが、垂直方向には電波をほとんど発射しません。このためアンテナの設置のしかたによっては伝送距離が短くなります。

●樹木の影響について

本装置が使用している2.4GHz帯域では樹木や木の葉の内部に含まれる水分が遮へい物となります。見通し直線状に樹木などの遮へい物があった場合、電波障害の原因になる場合があります。見通し直線状に樹木などが入らないようアンテナを設置してください。

●画像のコマ飛びについて

本機は、電波環境の変化があった場合にも安定した伝送ができるように、定期的に画像リフレッシュを行っています。

このため、通信状況が良好な状態でも画像のコマ飛びが発生することがあります。

●長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿で長時間連続使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
(推奨温度40℃以下)
設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度0℃～+45℃、湿度は90%以下の場所でお使いください。(常時通電状態でお使いになる場合)

●取り扱いについて

部品を取り外したり、分解したりしないでください。故障の原因となります。

●本機は屋内専用です

変形や変色の原因になりますので、直射日光の当たるところや冷暖房機器の近くを避けて設置してください。

●お手入れは

お手入れは、ACアダプターの電源プラグを抜いて行ってください。けがの原因になります。

ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

●汚れがひどいときは

うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

●コントローラー(別売品)の接続について

本機とコントローラーとの接続にはコントローラーに付属されている6ピンモジュラーケーブル(3m)を使用してください。付属のケーブル以外のケーブルを使用すると、故障や誤動作の原因になります。

付属以外のケーブルを使用する場合は、お買い上げの販売店へ事前にお問い合わせください。

●表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

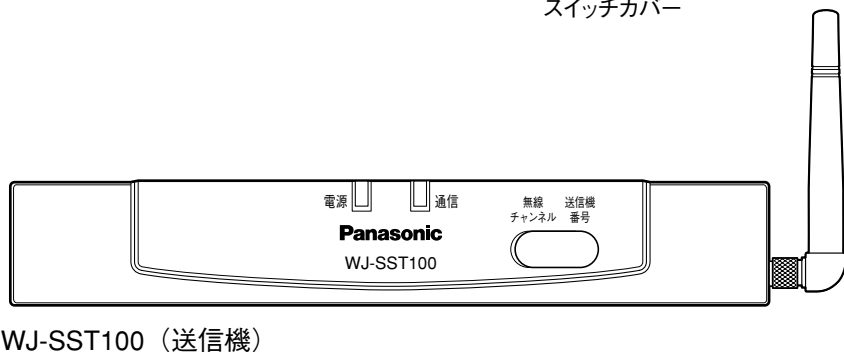
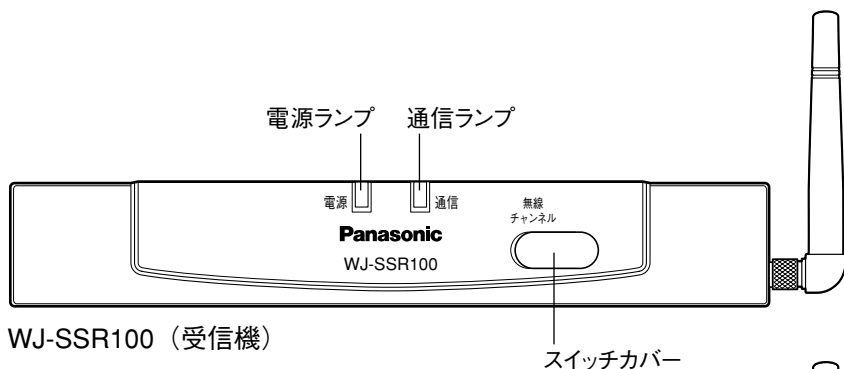
●コンビネーションカメラとの接続について

- 当社製コンビネーションカメラを送信機に接続し、受信機側からRS-485制御対応コントローラーでカメラを操作する場合は、RS-485端子が装備されたコンビネーションカメラ(WV-CS850A, WV-CW860など)のみ使用することができます。
54ページ設置手順、60ページ接続のしかたを参照ください。
- カメラ送信機間の同軸通信による制御はできません。同軸通信をする場合は、同軸通信ユニット(WJ-MP204)をご使用ください。(62ページ)

各部の名前とはたらき (前面パネル)

ご
使用
前
に

前面



電源ランプ

電源が入ると、点灯します。

通信ランプ

通信状況を表示します。データを送受信すると点滅します。

スクランブルキーを使用しない場合、緑色に点滅します。スクランブルキーを使用する場合、橙色に点滅します。(→34ページ)

無線チャンネル設定スイッチ

スイッチカバー内にあります。

スイッチを回転させて、無線チャンネルを設定します。

送信機番号設定スイッチ(送信機: WJ-SST100のみ)

スイッチカバー内にあります。

送信機番号を「1」～「4」の中から設定します。

準備する

ここでは、本機を使用する前に必要な準備事項について説明しています。
本機を使用する前に必ず以下の設定・操作を行ってください。

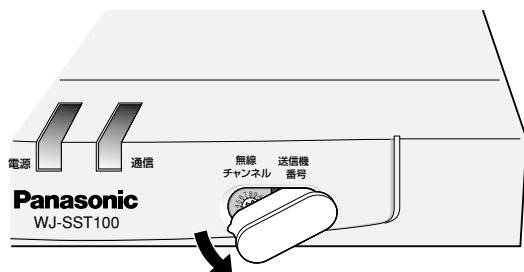
無線チャンネルを設定する

本機を使用する前に、まず受信機と送信機のチャンネルの設定を行います。

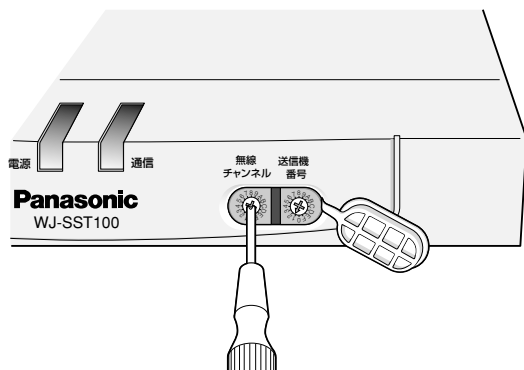
— 重要！ —

- 送信機と受信機には同じチャンネルを設定する必要があります。
- 複数のシステムを使用する場合、同じエリアで使用できるチャンネルは5つまでです。6つ以上のチャンネルを同時に使用すると、混信の原因になります。
(→58ページ)

- 1 本機前面にあるスイッチカバーを開けます。



- 2 精密ドライバーを使って無線チャンネル設定スイッチを回し、チャンネルを設定します。1～A(合計10チャンネル)の間で設定してください。



準備する

送信機番号を設定する(送信機・中継機のみ)

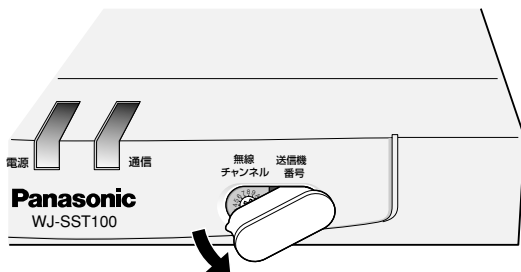
送信機の送信機番号を1～4のいずれかに設定します。

受信機と送信機でデータのやりとりを行うには、送信機に送信機番号を設定し、その送信機番号を受信機に登録する必要があります。(→39ページ)

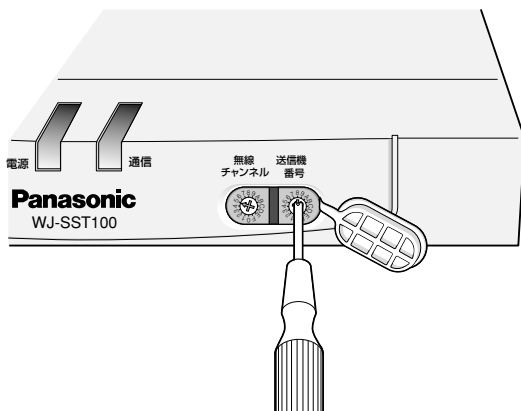
— 重要！ —

複数台の送信機を使用する場合、必ずそれぞれ異なる送信機番号を設定してください。同一システム内に同じ送信機番号の送信機があると、機器の動作に異常が生じます。また、受信機との通信中に送信機番号を変更しないでください。

- 1 本機前面にあるスイッチカバーを開けます。

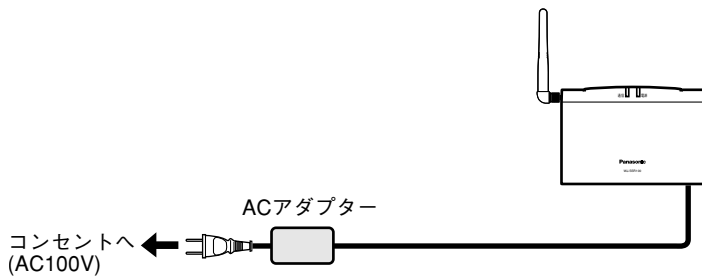


- 2 精密ドライバーを使って送信機番号設定スイッチを回し、送信機番号を設定します。



電源を入れる

- 1 付属のACアダプターを本機後面のDC電源入力に差し込み、ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。



→電源が入ると、本機前面の電源ランプが点灯します。



— 重要！ —

長時間使用しないときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

準備する

送信機・中継機の設定を行う

受信機とデータのやりとりを行う送信機や中継機は、受信機側に登録する必要があります。使用する送信機は送信機として使用するのか、中継機として使用するのか、また、アラーム動作を行うかどうかなどの設定を行います。設定は設定メニューの「REGISTRATION」で行います。詳しくは39ページをお読みください。

カメラの映像を見る(受信機のみ)

カメラが接続されている送信機番号を選択すると、選択した送信機に接続されているカメラの映像をモニターで見ることができます。

- 1 コントローラーの送信機選択ボタンを押して、見たいカメラが接続されている送信機を選択する。



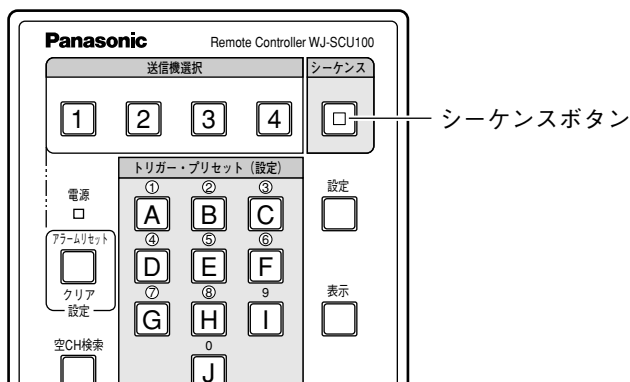
→モニターにカメラ映像が表示されます。

映像を自動的に切り換える(シーケンス)

カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。切り換える順序は、送信機番号順になります。例えば、送信機1、2、4が登録されている場合で送信機2の映像を表示しているときにシーケンス動作を開始すると、送信機4→1→2→4・・・の順に表示されます。

映像の切換時間は設定メニューの「SEQ TIME」で設定します。(→38ページ)
また、シーケンス動作中に[シーケンス] ボタンを押すと、手で映像を切り換えることができます。映像の切換時間を短くしたいときに使用します。

- 1 コントローラーの [シーケンス] ボタンを押します。



→映像がシーケンス表示され、シーケンスボタン内のランプが点灯します。
シーケンス表示を終了したいときは、送信機選択ボタンを押します。シーケンスボタン内のランプが消灯します。

モニターに情報を表示する

モニターに表示される情報について

カメラの映像や送信機の状態などの情報は、受信機に接続しているモニターで確認できます。

モニターに表示される情報は表示モードのON/OFFによって異なります。表示モードのON/OFFはコントローラーの「表示」ボタンを押すたびに切り換わります。(→25ページ)

モニターでは以下のような情報が確認できます。



- ①送信機番号 : 現在表示中の映像を送信している送信機の番号が表示されます。
- ②送信機名称 : 現在表示中の映像を送信している送信機の名称が表示されます。設定メニューの「REGISTRATION」で表示のON/OFFを選択できます。
- ③中継機番号 : 設定メニューの「REGISTRATION」で中継機として登録された送信機の送信機番号が表示されます。登録されていない場合は「-」で表示されます。
- ④受信状況 : 受信機の受信状況が6段階で表示されます。

レベル0	-----	レベル3	■■■_ _
レベル1	■_ _ _ _	レベル4	■■■■_ _
レベル2	■■_ _ _	レベル5	■■■■■

モニターに情報を表示する

- ⑤通信できない送信機 : 通信できない送信機がある場合、その送信機の番号が表示されます。表示させるには、設定メニューの「COM.WARNING」を「ON」に設定しておく必要があります。
- ⑥アラーム入力元の送信機 : アラーム信号が入力された場合、アラームが入力されたことを知らせる表示(「ALM」+アラーム入力元の送信機番号)が表示されます。

	表示モードON時	表示モードOFF時
送信機番号	○	×
送信機名称	○* ¹	×
中継機番号	○	×
受信状況	○	×
通信できない送信機	○* ²	○* ²
アラーム入力元の送信機	○* ³	○* ³

※1 送信機名称を登録してある場合(→42ページ)

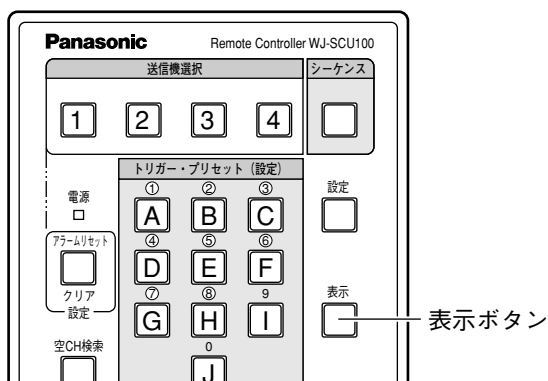
※2 設定メニューの通信異常表示「COM.WARNING」の設定がONの場合(→38ページ)

※3 設定メニューの送信機登録「REGISTRATION」の「ALM」設定がONの場合(→39ページ)

表示のしかた

モニターに情報を表示するには以下の操作を行います。

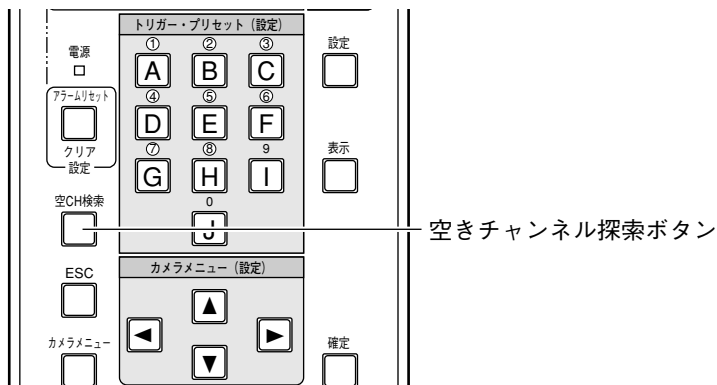
- 1 コントローラーの [表示] ボタンを押して、表示モードをONにします。
[表示] ボタンを押すたびに、表示モードのON/OFFが切り換わります。



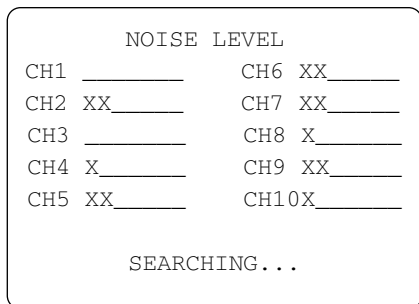
空きチャンネルを探索する(受信機のみ)

各無線チャンネルの妨害ノイズレベルを表示します。妨害ノイズレベルの低い無線チャンネルを使用してください。

- 1 コントローラーの [空CH探索] ボタンを押します。



→空きチャンネル探索機能が起動し、画面に各チャンネルの電界強度レベルが表示されます。



ノイズレベルは8段階で表示されます。レベルが高くなるほどノイズが大きくなります。

レベル0 _____	レベル4 XXXX_ _ _
レベル1 X_ _ _ _ _	レベル5 XXXXX_ _
レベル2 XX_ _ _ _	レベル6 XXXXXX_
レベル3 XXX_ _ _	レベル7 XXXXXXX

また、探索中は画面がブルー表示になります。

- 2 空きチャンネルの探索を終了するときは、再度 [空CH探索] ボタンを押します。

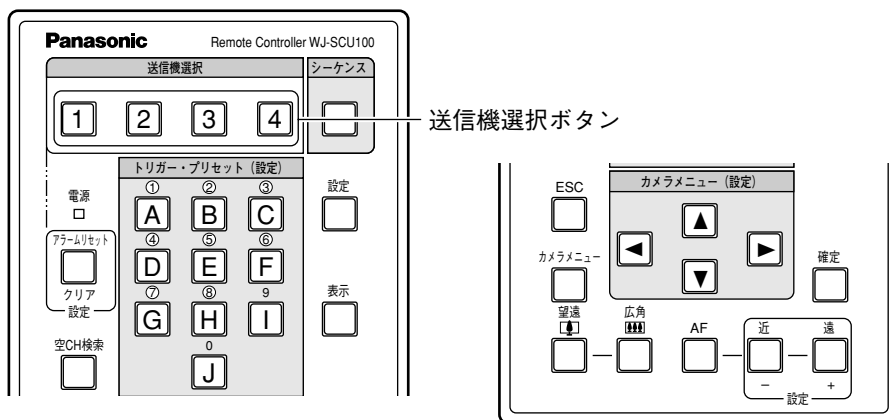
カメラの回転台・レンズを操作する(受信機のみ)

受信機に接続しているコントローラーからカメラの回転台やレンズを操作します。操作できる内容についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

— 重要! —

カメラをコントローラーから制御するには設定メニューの「SUB PORT」を「CAM-CTR」に設定しておく必要があります。(→36ページ)

- 1 コントローラーの送信機選択ボタンを押して、制御したいカメラが接続されている送信機を選択します。



操作

- 2 カメラを操作します。

パン・チルト : [◀] [▶] [▼] [▲] ボタン

ズーム : [望遠] [広角] ボタン

フォーカス : [近] [遠] ボタン

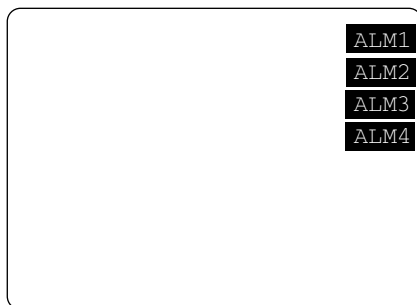
オートフォーカス : [AF] ボタン

プリセット : [A] ~ [H] ボタン(①~⑧)。また、これらのボタンは送信機のトリガー出力A~Hに接続された外部機器を制御します。

外部機器制御 : [I] ~ [J] ボタン。送信機のトリガー出力I、Jに接続された外部機器を制御します。

アラーム発生時の動作について

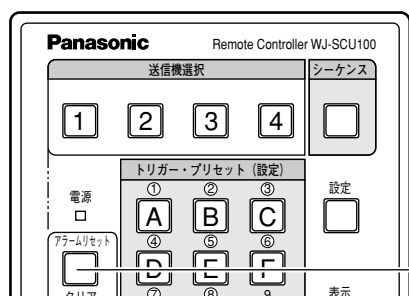
アラームが発生し、外部センサーやカメラなどから送信機にアラーム信号が入力されると、モニターにアラーム発生場所の映像とアラームが入力されたことを知らせる表示(「ALM」+アラーム入力元の送信機番号)が表示されます。



— 重要！ —

アラーム発生時に上記動作をさせるには、設定メニューの「REGISTRATION」で「ALM」を「ON」にし(→39ページ)、設定メニューの「ALARM OUTPUT」を設定しておく必要があります。(→38ページ)

アラームの動作を解除するには、コントローラーの [アラームリセット] ボタンを押します。



アラームリセットボタン

また、設定メニューの「ALARM OUTPUT」でアラームの出力時間を数値で設定している場合は、その時間が経過すると自動的にアラーム動作が解除されます(→38ページ)。アラームの動作が自動解除されると、アラーム入力前のカメラ映像に戻ります。ただし、画面のアラーム表示(「ALM」+アラーム入力元の送信機番号)は消えません。アラーム表示を消すには [アラームリセット] ボタンを押してください。

設定を行う

本機のシステム設定を行います。送信機のシステム設定を行う場合は、送信機にモニターとコントローラーを接続し、設定を行います。

設定メニュー一覧

設定メニューは送信機と受信機で異なります。

※が付いているメニューは受信機だけのメニューです。

メニュー名	概要	解説ページ
スクランブルキー選択 (「KEY SELECT」)	通信用のスクランブルキーを使用するかどうかを設定します。	34ページ
システムID (「SYSTEM ID」)	設定されているシステムIDを確認または設定できます。受信機のシステムIDは変更できません。	34ページ
パスワード (「PASSWORD」)	パスワードを変更します。	35ページ
画像サイズ※ (「VIDEO SIZE」)	画像のサイズは「CIF」で固定です。変更はできません。	36ページ
画質※ (「QUALITY」)	カメラ映像の画質を選択します。	36ページ
画像レート※ (「VIDEO RATE」)	画像の伝送速度の基準を設定します。	36ページ
サブポート※ (「SUB PORT」)	サブポートの用途を設定します。	36ページ
ボーレート※ (「BAUD RATE」)	サブポートを「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合、ボーレート(1秒間に何回変復調を行うかを表す単位)を設定します。	37ページ

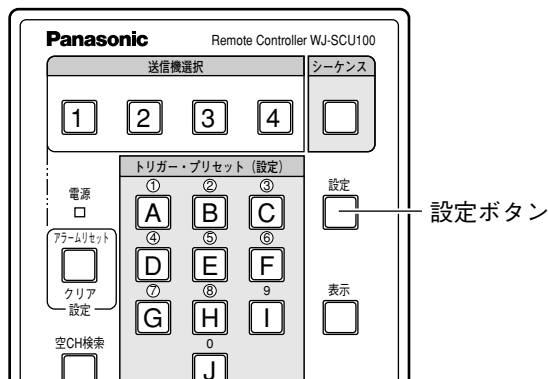
設定を行う

メニュー名	概要	解説ページ
データビット※ (「DATA BIT」)	サブポートを「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合、データのビット数を設定します。	37ページ
パリティチェック※ (「PARITY CHECK」)	サブポートを「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合、パリティチェックの方法を設定します。	37ページ
ストップビット※ (「STOP BIT」)	サブポートを「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合、ストップビットを設定します。	37ページ
通信異常表示※ (「COM.WARNING」)	通信できない送信機がある場合、その送信機の番号をモニターに表示するかどうかを設定します。	38ページ
映像自動切替時間※ (「SEQ.TIME」)	カメラ映像をシーケンス表示する場合の映像の切替時間を設定します。	38ページ
アラーム出力時間※ (「ALARM OUTPUT」)	アラーム信号の出力時間を設定します。	38ページ
送信機登録※ (「REGISTRATION」)	送信機の登録や各種設定を行います	39ページ

基本的な操作のしかた

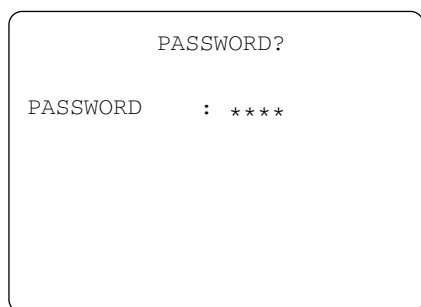
ここでは、設定メニューの基本的な操作のしかたについて説明します。

- 1 コントローラーの「設定」 ボタンを2秒以上押します。



→パスワード入力画面が表示されます。

- 2 数字4けたのパスワードを入力し、コントローラーの「▼」 ボタンを押します。
(工場出荷時は「0000」が設定されています)



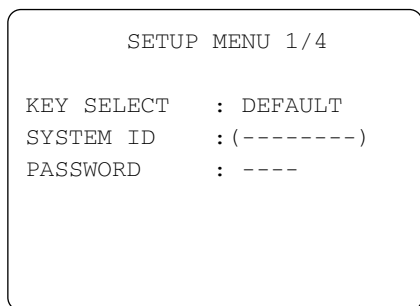
→設定メニューの最初の画面が表示されます。

－ 補足

パスワードを変更したい場合は、設定メニューの「PASSWORD」で行います。
(→35ページ)

設定を行う

3 各メニューを設定します。設定は接続されているコントローラーで行います。



メニュー項目を移動する

[▼] ボタン、[▲] ボタン

メニュー項目の設定内容を変更する

[-] ボタン、[+] ボタン

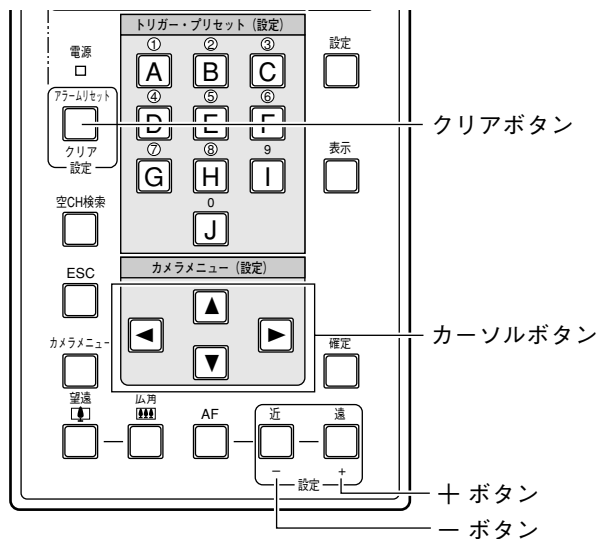
入力した文字をクリアする

[クリア] ボタン

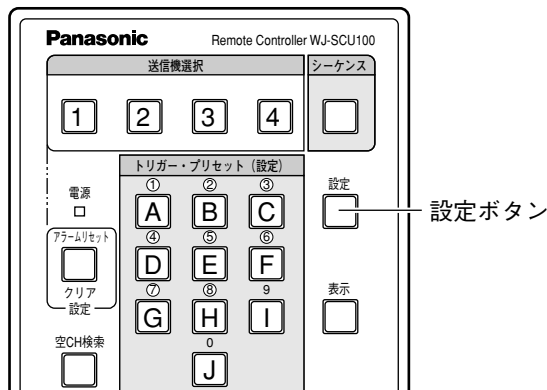
ページの切り換え

[▼] ボタン、[▲] ボタン

※カーソルを一番下のメニュー項目に合わせ、さらに [▼] ボタンを押すと、次ページに切り換わります。逆にカーソルを一番上のメニュー項目に合わせ、さらに [▲] ボタンを押すと、ページが前ページに切り換わります。



- 4 設定メニューを確定し、終了するときには再度「設定」ボタンを2秒以上押し
ます。



→通常のカメラ映像の画面に戻ります。表示されるカメラ映像は、設定メニューの「REGISTRATION」(→39ページ)で登録されている最も小さい送信機番号のカメラ映像です。

補足

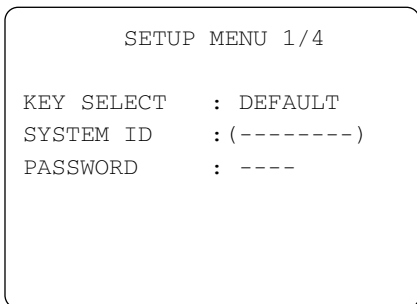
設定メニューを操作するとシーケンス動作は解除されます。シーケンスを動作させたいときは、「シーケンス」ボタンを押してください。(→22ページ)

設定を行う

設定メニューについて

ここでは、各設定メニューの詳しい内容について説明します。

設定メニューのページは全部で4ページあります。2ページ以降は受信機のみ
の設定です。送信機の設定メニューは①～③の1ページのみの設定です。



①スクランブルキー選択(KEY SELECT)

通信用のスクランブルキーを使用するかどうかを設定します。

スクランブルキーはシステムIDとパスワードで生成されます。特定の送受信機間
のみで画像伝送を行うときは「MANUAL」に設定してください。

設定できる内容:

DEFAULT(スクランブルキーを使用しません)

MANUAL(スクランブルキーを使用します)

②システムID(SYSTEM ID)

受信機の場合、①スクランブルキー選択(KEY SELECT)を「MANUAL」にすると、
設定されているシステムIDを確認できます。設定内容を変更することはできません。

送信機の場合、①スクランブルキー選択(KEY SELECT)を「MANUAL」にすると、
システムIDを入力できます。画像の伝送先となる受信機のシステムIDを入力してくだ
さい。入力はコントローラーのトリガー・プリセットボタン ([A] ~ [J] (①~0))
で行います。

③パスワード(PASSWORD)

パスワードを設定します。工場出荷時、「0000」が設定されています。

設定したパスワードは設定メニューを表示する際にも必要です。(→31ページ)

特定の送受信機間でのみ画像伝送を行う場合は、スクランブルキー生成の元となるパスワードを数字4けたで入力します。入力はコントローラーのトリガー・プリセットボタン ([A] ~ [J] (①~0)) で行います。入力した数字は「*」で表示されます。設定を変更するには、①スクランブルキー選択(KEY SELECT)を「MANUAL」に設定しておく必要があります。

— 重要! —

- スクランブルキーを「DEFAULT」のまま使用すると、他の受信機で通信を傍受される恐れがあります。第三者による傍受を防ぐためにもスクランブルキーを手動で設定することをお勧めします。
 - 設定したパスワードを忘れないように注意してください。また、他人に知られないよう、大切に保管してください。パスワードを忘れた場合は、販売店にお問い合わせください。
-

設定を行う

SETUP MENU 2/4

VIDEO SIZE : (CIF)
QUARITY : FINE
VIDEO RATE : UNIFIED
SUB PORT : RS-485
BAUD RATE : 9600
DATA BIT : 8
PARITY CHECK : NONE
STOP BIT : 1

④画像サイズ(VIDEO SIZE)

画像のサイズを確認できます。「CIF」で固定です。変更できません。

⑤画質(QUARITY)

カメラ映像の画質を設定します。

設定できる画質: FINE/NORMAL/ROUGH

⑥画像レート(VIDEO RATE)

複数の送信機を使用している場合、画像伝送速度の基準を設定します。

設定できる内容:

UNIFIED(登録されている送信機のうち、最も遅い伝送速度の送信機にすべての送信機の伝送速度を合わせます)

AUTO(それぞれの中継段数に応じて、送信機の伝送速度が変化します。中継機がない場合の伝送速度が最も速くなります。)

⑦サブポート(SUB PORT)

サブポートの用途を設定します。

設定できる内容:

OFF (使用しません)

AUDIO(音声データの送受信を行います)

RS-485(シリアルデータの送受信を行います。この設定にした場合、「SUB PORT」の下にある「BAUD RATE」などのRS-485通信の設定をする必要があります)

CAM-CTR(送信機にRS-485で接続されたカメラの制御を行います。この設定にした場合、「SUB PORT」の下にある「BAUD RATE」などのRS-485通信の設定をする必要があります)

⑧ボーレート(BAUD RATE)

ボーレート(1秒間に何回変復調を行えるかを表す単位)を設定します。

本設定は⑦サブポート(SUB PORT)を「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合にのみ設定する必要があります。

設定できる内容(bit/s): **2400／4800／9600／19200**

⑨データビット(DATA BIT)

データのビット数を設定します。

本設定は⑦サブポート(SUB PORT)を「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合にのみ設定する必要があります。

設定できる内容(bit): **7**または**8**

⑩パリティチェック(PARITY CHECK)

パリティチェックの方法を設定します。

本設定は⑦サブポート(SUB PORT)を「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合にのみ設定する必要があります。

設定できる内容: **NONE**(パリティチェックなし)

EVEN(偶数パリティ)

ODD(奇数パリティ)

⑪ストップビット(STOP BIT)

ストップビットを設定します。

本設定は⑦サブポート(SUB PORT)を「RS-485」または「CAM-CTR」に設定した場合にのみ設定する必要があります。

設定できる内容(bit): **1**または**2**

設定を行う

SETUP MENU 3/4

COM.WARNING : ON
SEQ.TIME : 5
ALARM OUTPUT : OFF

⑫通信異常表示(COM.WARNING)

通信できない送信機がある場合、その送信機の番号をモニターに表示するかどうかをON/OFFで設定します。(→23ページ)

⑬映像自動切換時間(SEQ.TIME)

カメラ映像をシーケンス表示する場合の映像の切換時間を設定します(→22ページ)。時間は目安です。実際に出力される時間ではありません。

設定できる内容: 5~60秒(整数)

⑭アラーム出力時間(ALARM OUTPUT)

アラーム信号の出力時間を設定します。時間は目安です。実際に出力される時間ではありません。

設定できる内容:

OFF(アラーム信号の出力および送信機の切り換えは行いません)

1~300秒(整数)

EXT([アラームリセット] ボタンが押されるまで出力し続けます)

— 補足 —

⑬⑭を設定する際、[+] ボタン、[-] ボタンを押し続けると、設定値を早くカウントすることができます。さらに押し続けると10の位ずつカウントアップされます。1秒単位の設定に戻りたい場合は、短く押ししてください。

SETUP MENU 4/4

REGISTRATION :

```

REG RLY1 RLY2 ALM NAME
1 YES OFF --- ON ON ►
2 YES 1 OFF OFF OFF
3 RLY --- --- --- ---
4 NO --- --- --- ---
    
```

⑮送信機登録(REGISTRATION)

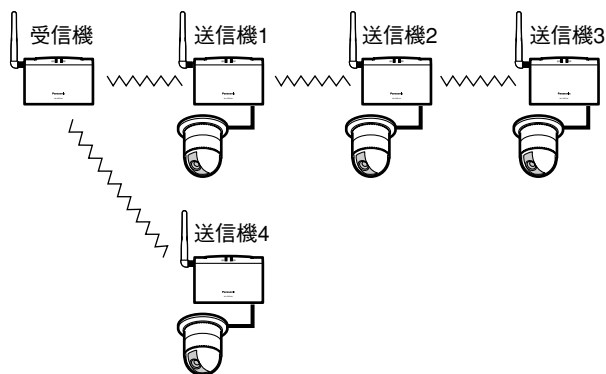
送信機の登録や各種設定を行います。登録した送信機のアラーム動作や送信機名称もこのメニューで設定します。

表示/設定項目	解説
送信機番号	送信機前面の送信機番号設定スイッチで設定する送信機番号が表示されます。
REG	送信機を登録します。以下のいずれかを選択します。 NO(登録しない) YES(登録する) RLY(中継専用機として登録する) ※中継専用機として登録した場合、送信機選択ボタンで選択できません。また、シーケンス動作はスキップされます。
RLY1	中継機として使用する送信機の送信機番号を設定します。 「REG」を「YES」または「RLY」に設定した送信機のみ設定できます。 中継機を2台使用する場合は、受信機に近い方の送信機の送信機番号を設定します。 OFF(中継機なし) 1~4(中継機として使用する送信機の送信機番号を1~4のいずれかで設定する)

設定を行う

表示／設定項目	解説
RLY2	<p>中継機として使用する送信機の送信機番号を設定します。 「REG」を「YES」または「RLY」に設定した送信機のみ設定できます。</p> <p>中継機を2台使用する場合は、受信機から遠い方の送信機の送信機番号を設定します。</p> <p>OFF(中継機なし)</p> <p>1～4(中継機として使用する送信機の送信機番号を1～4のいずれかで設定する)</p>
ALM	<p>アラーム動作を行うかどうかをON/OFFで設定します。</p> <p>ON(アラーム動作を行う)</p> <p>OFF (アラーム動作を行わない)</p>
NAME	<p>送信機の名称をモニターに表示するかどうかをON/OFFで設定します。ONに設定した場合、[▶] ボタンを押して、送信機入力画面を表示します。(→42ページ)</p> <p>ON(送信機名称を表示する)</p> <p>OFF (送信機名称を表示しない)</p>

設定例



上記接続の場合、以下のように設定します。

SETUP MENU 4/4					
REGISTRATION :					
	REG	RLY1	RLY2	ALM	NAME
1	YES	OFF	---	OFF	OFF
2	YES	1	OFF	OFF	OFF
3	YES	1	2	OFF	OFF
4	YES	OFF	---	OFF	OFF

- 送信機1は中継機無しで接続。
- 送信機2は中継機1台で接続。中継機は送信機1。
- 送信機3は中継機2台で接続。中継機は受信機に近い方が送信機1、受信機から遠い方が送信機2。
- 送信機4は中継機無しで接続。

設定を行う

送信機の名称を入力する

送信機の名称を入力します。設定メニューの送信機登録(REGISTRATION)の「NAME」を「ON」に設定し、[▶] ボタンを押すと、送信機名称入力画面が表示されます。

入力可能文字数: 24文字以内

入力可能文字: 0~9、A~Z、スペース

- 1 コントローラーの [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、入力可能文字を選択します。[+] ボタンを押すたびに入力文字が以下のように切り換わります。また、「0」～「9」の数字はコントローラーのトリガー／プリセットボタンでも入力できます。

「0」～「9」→「A」～「Z」→スペース→「0」～「9」・・・

[◀] ボタンまたは [▶] ボタンを押してカーソルを移動させると、入力した文字が確定します。

SETUP MENU 4/4 (SUB)

NO.1 _____ 送信機番号

INPUT NAME :
■

- 2 入力が終わったら、[ESC] ボタンを押します。
→送信機登録(REGISTRATION)の画面に戻ります。

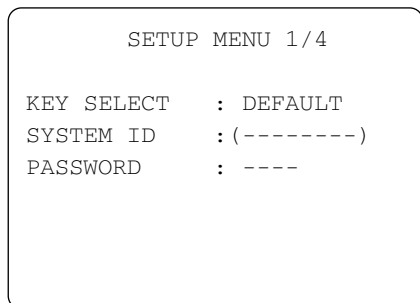
補足

送信機登録(REGISTRATION)の「NAME」を「ON」に設定している送信機が複数ある場合、[▼] ボタンまたは [▲] ボタンを押すと、送信機を切り換えて名称を設定できます。

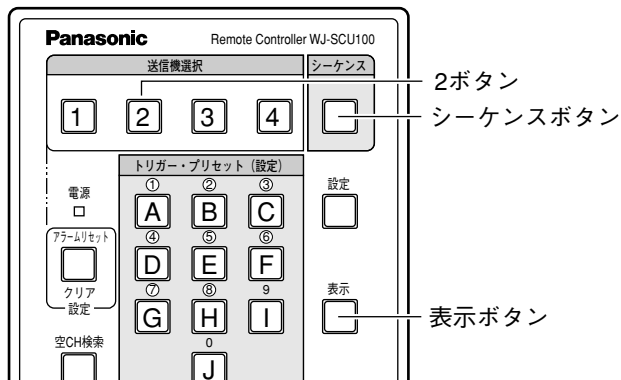
設定内容を初期化する

設定メニューの設定内容を工場出荷時の状態に初期化します。

- 1 設定メニューを表示します。(→31ページ)



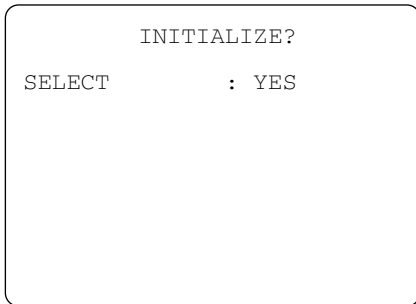
- 2 [シーケンス] ボタン+ [表示] ボタン+ [2] ボタンを同時に押します。



→初期化の画面が表示されます。

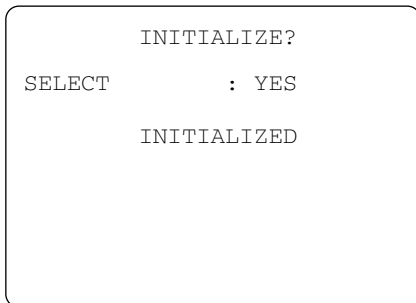
設定を行う

- 3** [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、「YES」に設定します。



- 4** [シーケンス] ボタン+ [表示] ボタン+ [3] ボタンを同時に押します。
→初期化が開始されます。

- 5** 画面に「INITIALIZED」が表示されたら、[設定] ボタンを約2秒押します。



→設定メニューが終了し、設定内容が工場出荷時の状態に初期化されます。

補足

手順**3**、**4**でコントローラーの [▼] ボタンを押すと、設定メニューの最初の画面に戻ります。

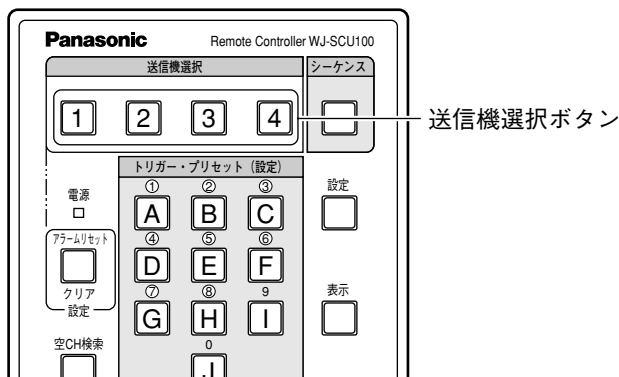
カメラを設定する

受信機に接続されているコントローラーからカメラ設定メニューを呼び出して、カメラを設定します。設定できる内容については接続しているカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

— 重要！ —

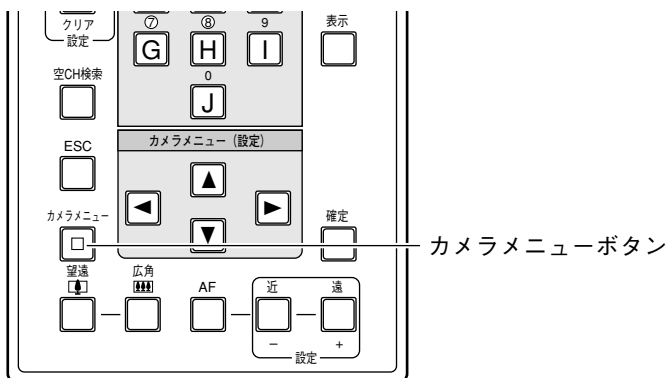
- カメラをコントローラーから制御するには設定メニューの「SUB PORT」を「CAM-CTR」に設定しておく必要があります。(→36ページ)
- 送信機からカメラ設定メニューを呼び出して操作することはできません。
- シーケンス動作中、カメラ設定メニューを呼び出すことはできません。送信機選択ボタンを押して送信機を選択してから、カメラ設定メニューを呼び出してください。

- 1 コントローラーの送信機選択ボタンを押して、制御したいカメラが接続されている送信機を選択します。



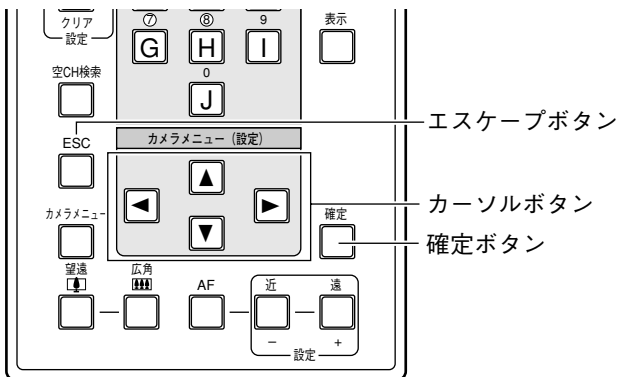
カメラを設定する

- 2 コントローラーの [カメラメニュー] ボタンを2秒以上押します。



→カメラメニューが表示されます。[カメラメニュー] ボタン内のランプが点灯します。

- 3 コントローラーのカーソルボタンを押して、カメラメニューを操作します。
- | | |
|----------------|--------------------|
| メニュー項目を移動する | [▼] ボタンまたは [▲] ボタン |
| 設定内容を変更する | [◀] ボタンまたは [▶] ボタン |
| 設定内容を確定する | [確定] ボタン |
| 変更を取り消す／前画面に戻る | [ESC] ボタン |



- 4 カメラメニューを終了するときは再度 [カメラメニュー] ボタンを2秒以上押します。[カメラメニュー] ボタン内のランプが消灯します。

— 補足

カメラの設定メニューはシステムコントローラー(WV-CU161, WV-CU360)でも操作できます。システムコントローラーを使ってカメラ設定メニューを操作するには、設定メニューの「SUB PORT」を「RS-485」に設定する必要があります。

また、このときコントローラー(WJ-SCU100)からカメラを制御することはできません。

コントローラーとのボタンの対応は以下のようになります。

WJ-SCU100	WV-CU161, WV-CU360
カーソルボタン	テンキー
[確定] ボタン	[SET] ボタン
[ESC] ボタン	[ESC] ボタン
[近] ボタン	[◀] ボタン+ [▶] ボタンを約2秒間同時に押す
[遠] ボタン	[◀] ボタン+ [▶] ボタン+ [5] ボタンを約2秒間同時に押す

工事説明

工事を始める前に

—重要！—

- ・ 工事は販売店にご依頼ください。
- ・ 工事をを行う前に、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

本機は屋内用です。

本機は屋内での使用を前提に設計されています。屋外に設置するときは、送信機/受信機/ACアダプターをボックスなどに収納し、水がかからないようにしてください。

5cm以上間隔を空ける

機種側の側面、上面、後面は壁面から5cm以上空けてください。

雑音源は避ける

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる、音が途切れるなどの原因となります。そのときは、雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

設置場所について

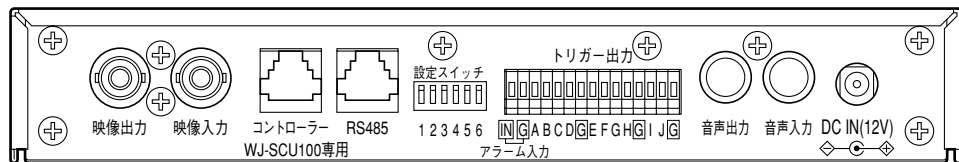
以下の場所には設置しない

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ・ スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ・ 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ・ 厨房など蒸気や油分の多い場所
- ・ 2.4GHz帯域を使用する無線設備の近く

卓上などに置いて使用するときは、付属のゴム足(4個)を本機底面四隅にある凹部に取り付ける

各部の名前(後面パネル)

送信機(WJ-SST100)



映像出力(BNC)

映像入力に接続したカメラの映像が出力されます。

設置時、モニターを接続すれば、映像入力に接続したカメラの画角確認および送信機の設定ができます。

映像入力(BNC)

カメラなどの映像機器を接続します。

コントローラー

設置時、別売りのコントローラー(WJ-SCU100)を接続すれば、送信機を設定することができます。

RS-485(全二重)

RS-485通信可能な当社カメラ(WV-CS850など)を接続する場合に使用します。

設定スイッチ

以下の設定を行います。詳しくは56ページをお読みください。

- ・ RS-485配線方式
- ・ 終端ON/OFF
- ・ 映像同期方法

アラーム入力

センサーなどを接続します。

トリガー出力

照明やブザーなどを接続します。各端子は、コントローラーのボタン(A~J)に対応しており、ボタンを押したときパルスが出力されます(必要に応じてリレーなどを使用してください)。

音声出力(ピンプラグ)

受信機の音声入力に接続した機器からの音声が出力されます。音声を聞くには、別途アンプ付きスピーカーが必要です。

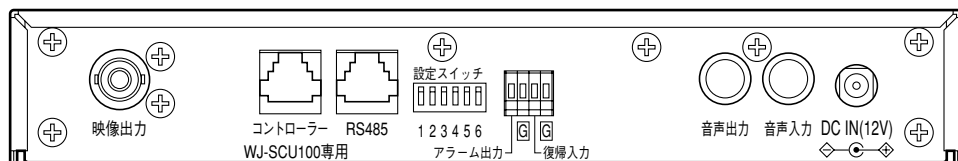
音声入力(ピンプラグ)

マイクロホンなどの音源機器を接続します。別途マイクロホンアンプが必要です。

DC 12 V入力

付属のACアダプターを接続します。

受信機(WJ-SSR100)



映像出力(BNC)

モニターを接続します。接続したモニターに受信した画像や設定メニューが表示されます。

コントローラー

別売りのコントローラー(WJ-SCU100)を接続します。

RS-485(全二重)

RS-485通信可能な機器を接続できます。

設定スイッチ

以下の設定を行います。詳しくは56ページをお読みください。

- ・RS-485配線方式
- ・終端ON/OFF
- ・同期方法

アラーム出力

照明やブザーなどを接続します。

復帰入力

スイッチを接続すれば、送信機からのアラームを解除できます。

音声出力(ピンプラグ)

受信機の音声入力に接続した機器からの音声が出力されます。音声を聞くには、別途アンプ付きスピーカーが必要です。

音声入力(ピンプラグ)

マイクロホンなどの音源機器を接続します。別途マイクロホンアンプが必要です。

DC 12 V入力

付属のACアダプターを接続します。

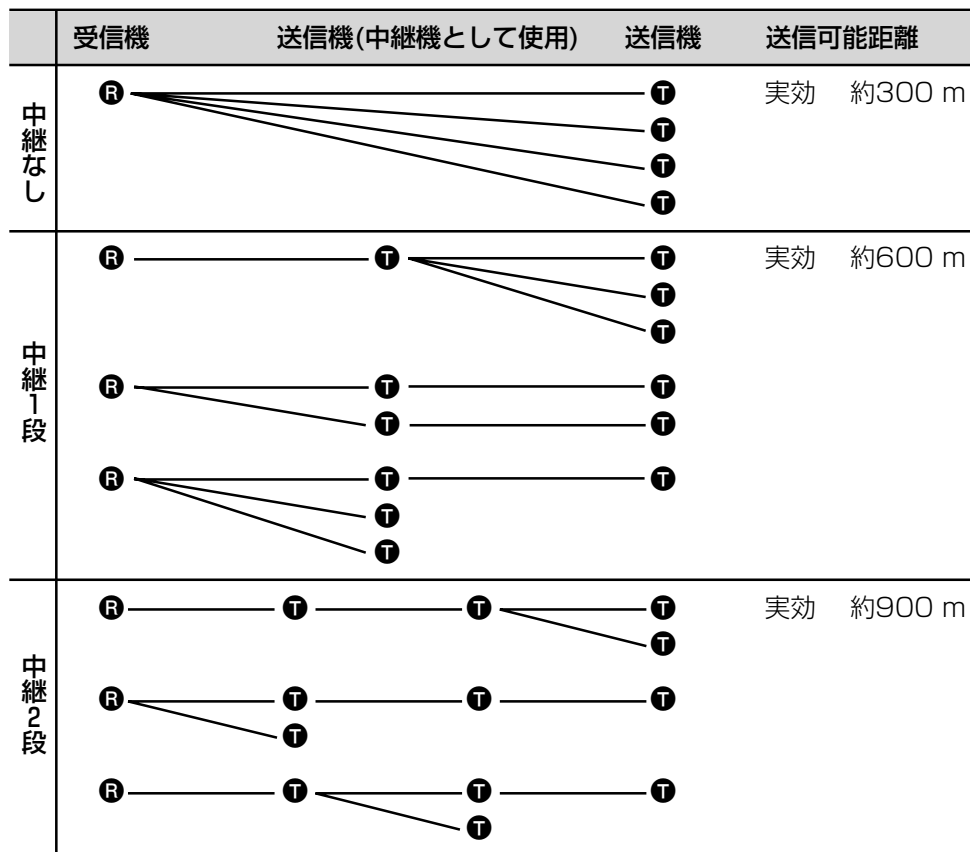
システム例

システムパターン

送信機は、実効距離で約300mの範囲で受信機にカメラ画像を伝送できます。

送信機は中継機として使用することもできます。

送信機と受信機の組み合わせ可能なパターンは下図のとおりです。



実線：推奨経路 R：受信機 T：送信機

—重要！—

・送信機を中継機として使用するには、受信機側で設定する必要があります。詳しくは39ページをお読みください。

・送信機は4台まで、1台の受信機で制御できます。

中継機を設けることのメリット

送信機を中継機として使用することによって以下のメリットがあります。

- ・ 伝送可能距離を延長できます。(最大実効距離 約900m)
- ・ 中継機を複数設置することによって、1台が故障しても残りの1台で経路を確保できるため、システムの信頼性を向上できます。

—重要！—

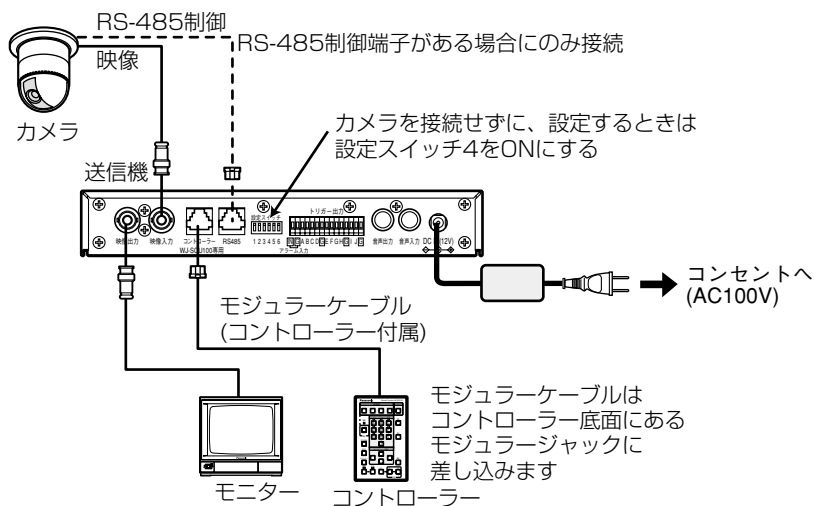
- ・ 送信機を中継機として使用するには、受信機側で設定が必要です。
 - ・ 中継機にカメラを接続し、中継場所の画像を受信機に伝送することもできます。この場合、REG設定(SETUP MENU 4/4)をYESに設定してください。
 - ・ 左図で示すとおり、最大2か所で中継できますが、中継個所を増やすごとに画像レートは低下します。
-

設置手順

設置工事は以下の手順で行ってください。

送信機

- 1 後面パネルにある設定スイッチ(56ページ)、前面スイッチカバー内にある無線チャンネル設定スイッチおよび送信機番号設定スイッチを設定します(58ページ)。
- 2 送信機とカメラを設置し、送信機にカメラを接続します。
カメラを設置する場合、カメラの取扱説明書をよく読んでその指示に従ってください。
- 3 送信機に、コントローラーと確認用モニターを接続し、送信機の設定を行います(下図参照)。
設定のしかたは34ページをお読みください。
カメラは、設置工事完了後、受信機から設定してください。



—重要！—

音声入出力は、SETUP MENU 2/4のSUB PORTの設定を「AUDIO」または「CAM-CTR」に設定されているときのみ使用できます(36ページ)。RS-485インターフェースのコントローラー(WV-CU161など)を使用する場合、音声入出力は使用できません。

送信機を中継機として使用する場合

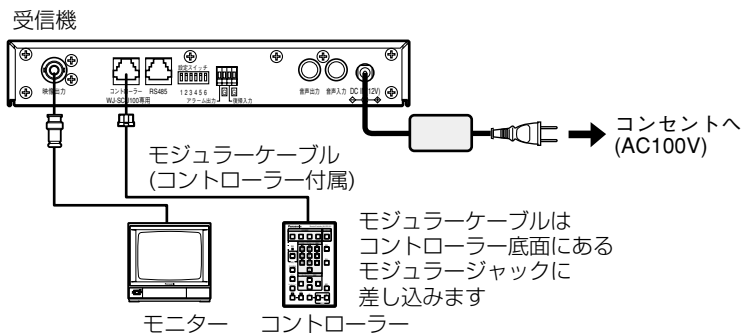
送信機を設置し、付属のACアダプターを接続してください。

—重要！—

- ・中継機にカメラを接続する場合は、前ページをお読みください。
- ・送信機を中継機として使用するためには、設定が必要です(39ページ)。

受信機

- 1 後面パネルにある設定スイッチ(56ページ)、前面スイッチカバー内にある無線チャンネル設定スイッチを設定します(58ページ)。
- 2 受信機を設置します。
- 3 受信機に、コントローラーおよびモニターを接続し、受信機およびカメラの設定を行います(下図参照)。
設定のしかたは34ページをお読みください。



—重要！—

カメラを設定するには、送信機にカメラが接続されており、送信機および受信機の設定が完了している必要があります。

スイッチの設定

設定スイッチの設定

ここでは、後面パネルにある設定スイッチの役割について説明します。必要に応じて設定してください。



送信機は、設定スイッチ1～6で下表の設定を行います。

受信機は、設定スイッチ1～3で下表の設定を行います。4～6は、使いません(OFFのままお使いください)。

SW#	機能	ON	OFF
1	RS-485配線方式	クロス	ストレート
2	RS-485終端(ストレート配線時)	終端ON	終端OFF
3	RS-485終端(クロス配線時)	終端ON	終端OFF
4	映像同期方法	内部同期	外部同期
5	アンテナタイプ1	ダイバシティ	手動
6	アンテナタイプ2	内蔵アンテナ	外部アンテナ

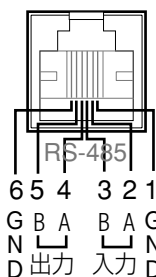
・RS-485配線方式・終端について(SW1～3)：送信機・受信機

当社コンビネーションカメラなどRS-485通信が可能な機器を接続する場合、設定します。

SW1は、接続する機器の配線に合わせて設定してください。また、本機で終端する場合、配線がストレートのときはSW2をONに、配線がクロスときはSW3をONにしてください。

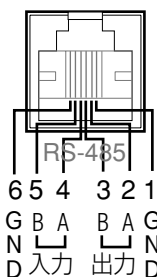
本機後面パネル

ストレート



設定スイッチ1がOFF(上)のとき

クロス



設定スイッチ1がON(下)のとき

—重要！—

データポートは設定スイッチ1のON/OFFによって配線をストレートまたはクロスに切り換えることができます。

ONのとき: クロス(当社マトリクススイッチャーの接続に使用するとき)

OFFのとき: ストレート(当社システムコントローラーの接続に使用するとき)

- ・映像出力信号の同期について(SW4)：送信機

設置工事時、送信機にカメラを接続しないで、設定を行うときにONにします。ONにすると、カメラの接続の有無に関わらず、確認用モニタ画面は黒画面になります。

- ・アンテナタイプ1、2について(SW5、SW6)：送信機

外部アンテナを使用する場合、または別売のアンテナキットを使用する場合は、SW5、SW6をOFFにします。

本機の内蔵アンテナを使用する場合は、SW5をOFF、SW6をONにします。

ダイバシティを有効にする場合（内蔵アンテナ／外部アンテナ）はSW5をONにします。このときSW6は無効になります。

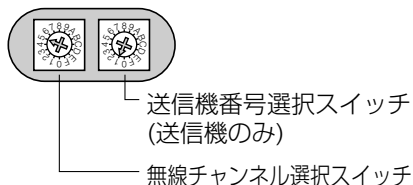
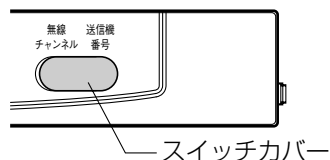
スイッチの設定

無線チャンネル設定スイッチ・送信機番号設定スイッチ設定

前面パネルのスイッチカバーを外すと無線チャンネルと送信機番号(送信機のみ)を設定できます。これらは、使用開始時に設定することもできます。

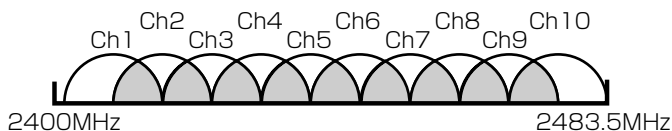
無線チャンネルの設定

画像伝送に使用するチャンネルを無線チャンネル選択スイッチで設定します。1～A(合計10チャンネル)の間で設定してください。



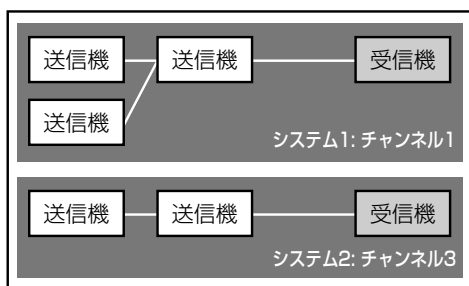
—重要！—

- 画像を伝送する送信機と受信機には同じ無線チャンネルを設定してください。
- チャンネルは、隣り合う周波数が半分ずつ重複するので、同じエリアで複数のシステムを使用する場合は、隣り合うチャンネル番号は使用しないでください。従って同じエリア内で使用できるチャンネルは5つまでとなります。また、チャンネル番号を4つ以上離して設定することを推奨します。



例: 2つのシステムを同じエリアで使用する場合

- チャンネル1と3はOK
- チャンネル1と2はNG



送信機番号の設定

送信機を複数台使用する場合(送信機を中継機として使用する場合も含む)、送信機を区別するための番号を送信機番号選択スイッチで設定します。このスイッチで設定した番号がSETUP MENU 4/4の送信機番号(1~4)になります。なお、このスイッチは送信機にのみあります。

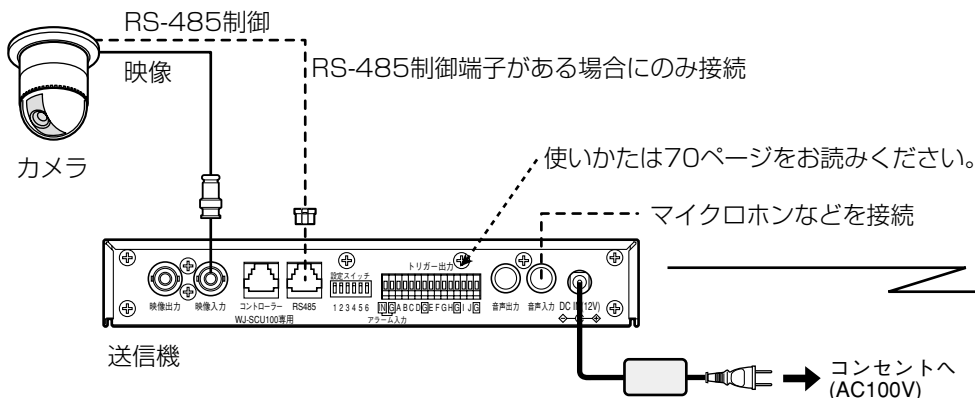
—重要！—

送信機を複数台使用する場合は、必ず別々の番号を設定してください。同じ番号の送信機が同一システム内に複数存在すると、正常に動作できません。

接続のしかた

接続例 1 (カメラ1台使用)

下図を参考に接続してください。



—重要！—

RS-485と音声入出力は同時に使用できません(SETUP MENU 2/4のSUB PORTの設定を「RS-485」に設定した場合(36ページ))。

・カメラについて

カメラは映像入力に接続します。当社製コンビネーションカメラまたはシステムカメラを接続できます。接続可能なカメラは販売店にご確認ください。

接続に必要なBNCプラグ付きケーブル(推奨5C-2V以上)は現地で調達してください。

RS-485制御対応コントローラーでカメラを操作する場合、カメラのユニット番号は1に設定してください。1以外の番号が設定されたカメラは操作できません。設定のしかたはカメラの取扱説明書をお読みください。

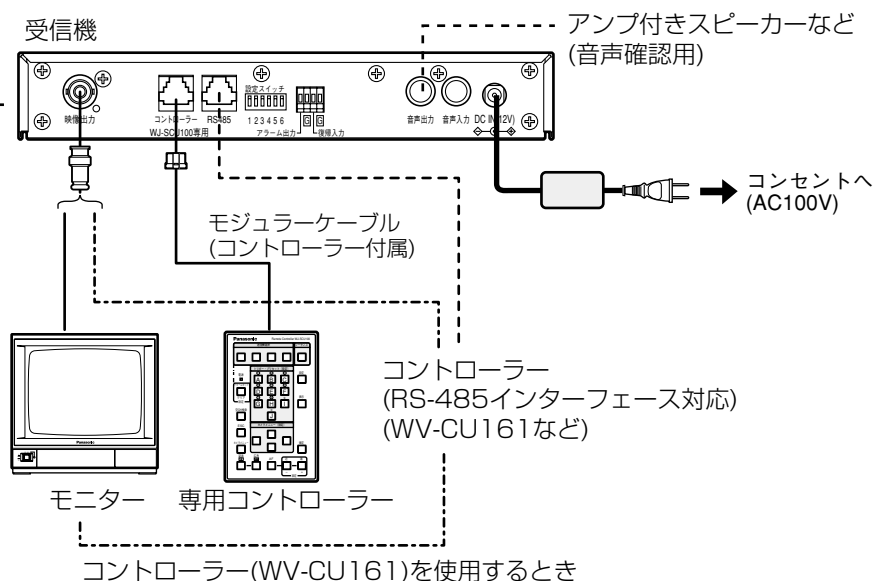
接続可能なコントローラーおよびカメラは販売店にご確認ください。

・コントローラーについて

専用コントローラー(WJ-SCU100)をモジュラーケーブルでコントローラーポートに接続します。送信機を設定する場合は送信機のコントローラーポートに専用コントローラーを接続します。

接続例について: モーションディテクター(動き自動検知機能)付きのカメラを接続すると、動きを検知したときカメラが出力するアラームを送信機が検出しアラーム動作を行うことができます(SETUP MENU 2/4のSUB PORTの設定を「CAM-CTR」に設定した場合(36ページ))。

モーションディテクターとアラーム入力端子は同時に使用することができます。



・モニターについて

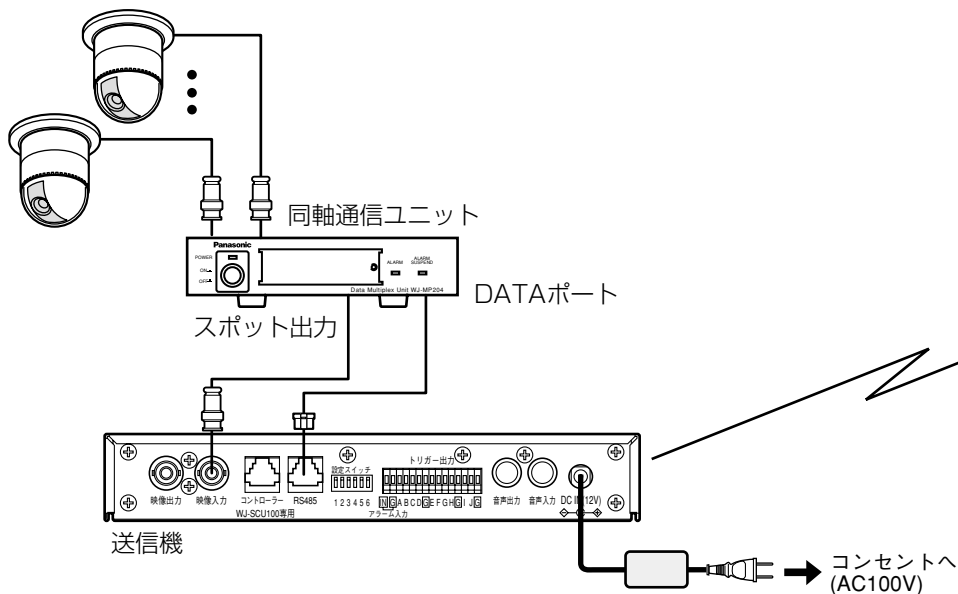
モニターは映像出力に接続します。送信機を設定する場合は送信機の映像出力端子にモニターを接続します。

受信機にコントローラー(WV-CU161など)を接続する場合は、コントローラーの映像出力に接続します。

接続のしかた

接続例2(カメラを複数台使用)

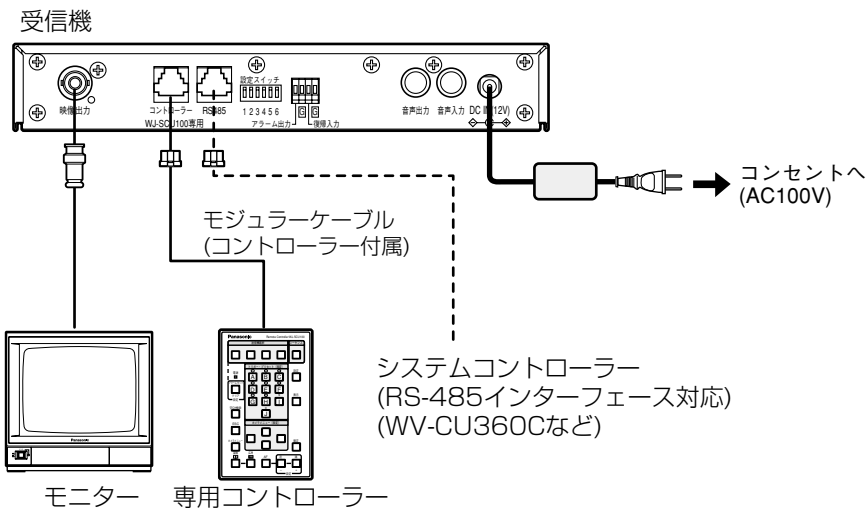
カメラを複数台使用する場合は、同軸通信ユニットを送信機—カメラ間に接続します。



・同軸通信ユニットについて

同軸通信ユニットを使用する場合、以下のことに注意してください。

- ・同軸通信ユニット—カメラ間の接続および設定は、同軸通信ユニットの取扱説明書をお読みください。接続可能な同軸通信ユニットは販売店にご確認ください。
- ・同軸通信ユニットはカメラ通信モードでお使いください。
PS・Data(Panasonic Security・Data)モードでは使用できません。
- ・RS-485シリアルデータ転送はシステムコントローラーからの制御用です。
他の用途に使用することはできません。
無線状態が悪化すると、転送中のシリアルデータにノイズが入り、誤動作する場合があります。

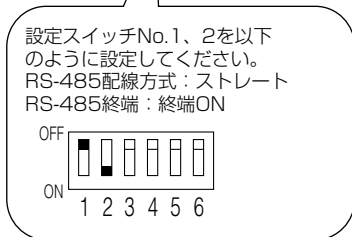
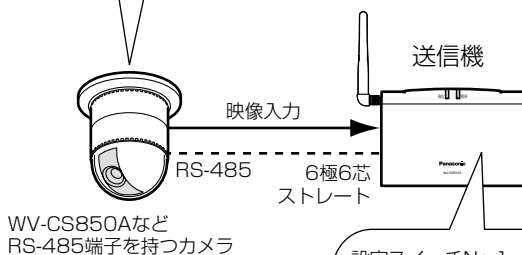
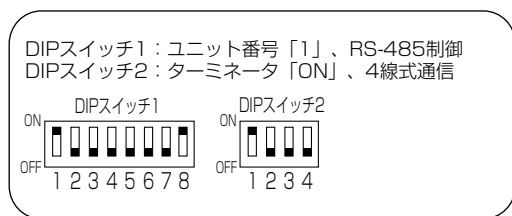


・コントローラーについて

- ・同軸通信ユニットを使用する場合、別途システムコントローラー(別売り)が必要です。使用可能なシステムコントローラーは販売店にご確認ください。
- ・専用コントローラー、モニターの接続のしかたは接続例1をお読みください。

システム接続例

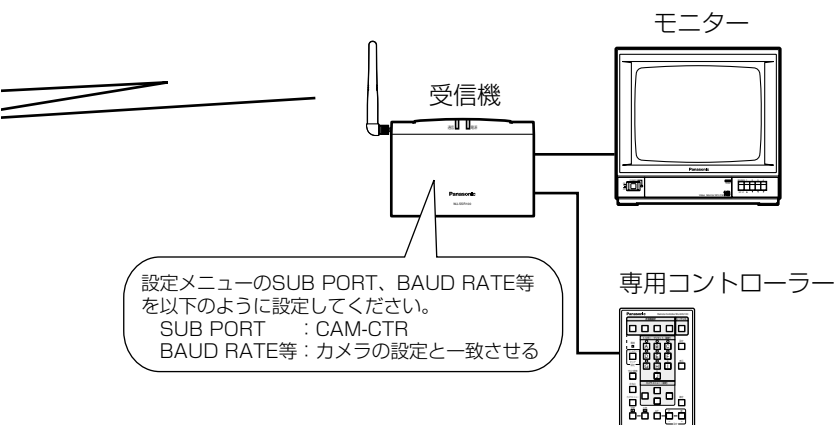
専用コントローラーでカメラを操作する



使用形態

この接続例では、専用コントローラーで以下の操作を行うことができます。

- ・カメラのパン、チルト、ズーム、プリセットを操作できます。
- ・カメラメニューを呼び出し、カメラの機能を設定できます。
- ・音声入出力とRS-485による制御を同時に使用できます。
- ・カメラからのアラームを受信してアラーム動作を行うことができます。

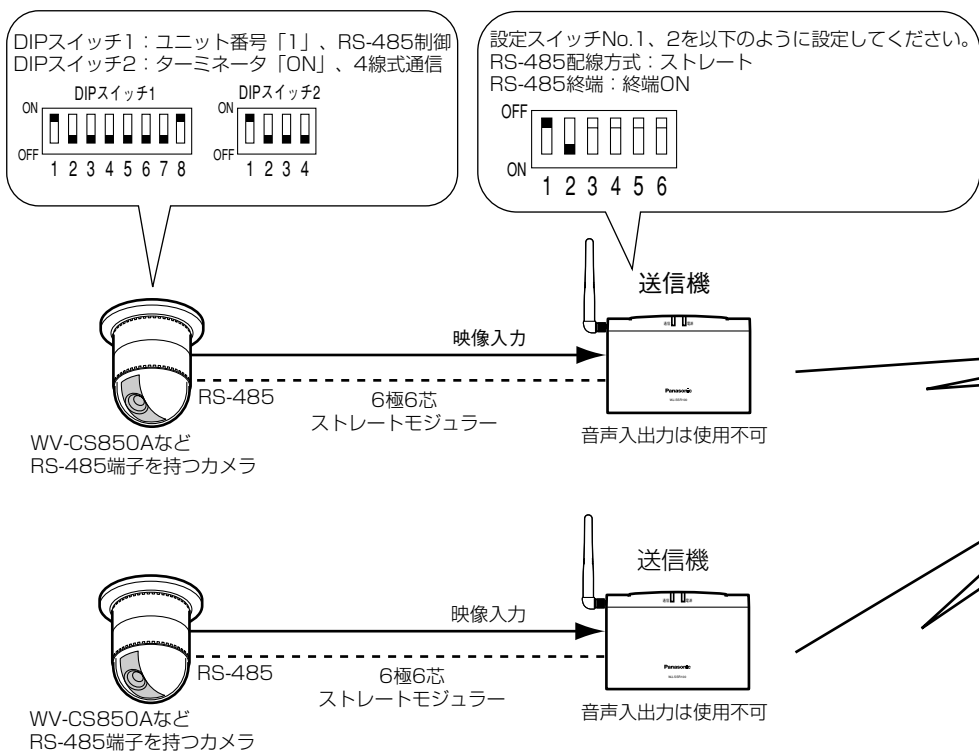


—重要！—

- ・使用するカメラのユニット番号は必ず「1」に設定してください。
- ・RS-485端子がある当社製コンビネーションカメラのみ操作できます(WV-CS850, WV-CS850A, WV-CW860など)。
- ・複数のカメラをディジーチェーンで接続して操作することはできません。
- ・WV-CU161などのシステムコントローラーを接続して操作することはできません。
- ・同軸通信による制御はできません。

システム接続例

システムコントローラー(WV-CU161)で操作する



使用形態

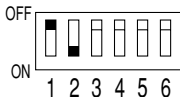
システムコントローラー（WV-CU161など）で以下の操作を行うことができます。

- ・カメラのパン、チルト、ズーム、プリセットを操作できます。
- ・カメラメニューを呼び出し、カメラの機能を設定できます。

専用のコントローラーは、送信機の切り換えと受信機の設定に使用します。

送信機を複数台使用する場合は、上図と同じ設定にします。専用コントローラーで送信機を切り換えれば、送信機に接続されたカメラを操作できます。

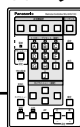
設定スイッチNo.1、2を以下のように設定してください。
RS-485配線方式：ストレート
RS-485終端：終端ON



設定メニューのSUB PORT、
BAUD RATE等を以下のように設定して
ください。

SUB PORT : RS-485
BAUD RATE等：カメラ等の設定と一致
させる

専用コントローラー



受信機

音声入出力は
使用不可

映像出力
RS-485
(透過)

システムコントローラー
(RS-485インターフェース対応)
(WV-CU161など)

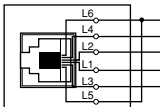
ピン番号	信号名
1	GND
2	RB (-)
3	RA (+)
4	TB (-)
5	TA (+)
6	GND

受信機
RS-485端子



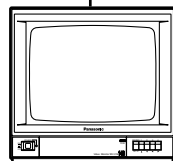
6極6芯ストレート
モジュラーケーブル

テレホンモジュラージャック
WNT3563K (松下電工)



端子台	信号名
G	GND
B	TB (-)
A	TA (+)
B	RB (-)
A	RA (+)

モニター

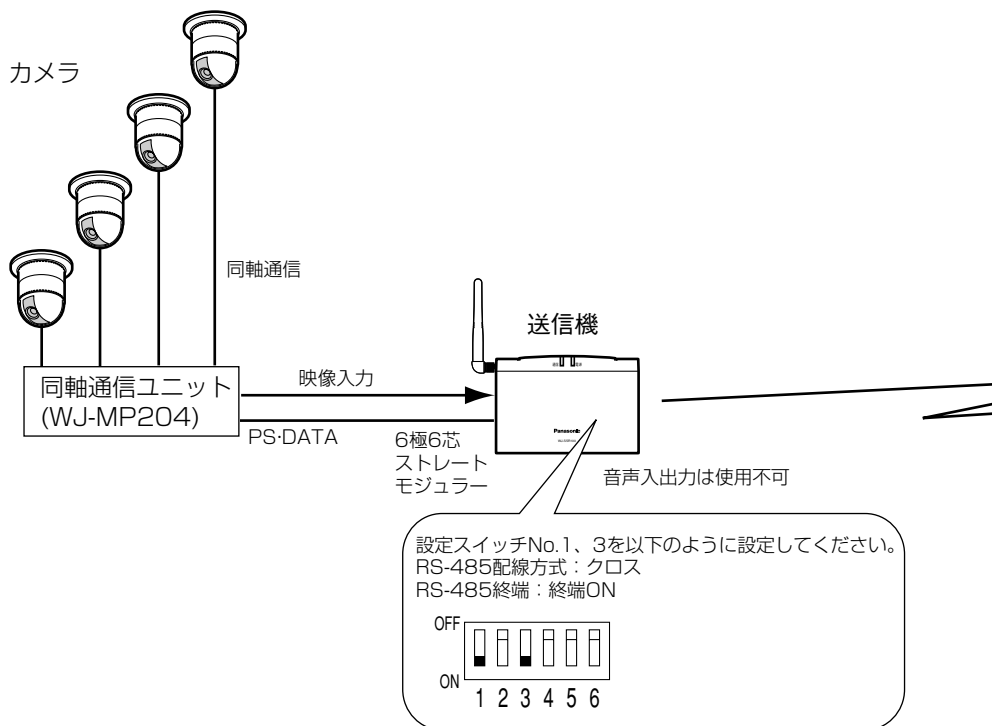


—重要！—

- ・使用するカメラのユニット番号は「1」に設定してください。
- ・RS-485端子がある当社製コンビネーションカメラのみ操作できます(WV-CS850, WV-CS850A, WV-CW860など)。コンビネーションカメラを使用する場合は、全送信機にWV-CS850A以降に生産された機種で統一してください。
- ・複数のカメラをディジーチェーンで接続して操作することはできません。専用コントローラーおよび同軸通信によるカメラ制御はできません。
- ・伝送遅延を小さくするには、受信機の設定メニューのQUALITYを「NORMAL」または「ROUGH」に設定してください。中継機を使用する場合は、受信機の設定メニューのVIDEO RATEを「AUTO」に設定します。
- ・専用コントローラーでカメラは操作できません。
- ・カメラからのアラームは受信機を経由してシステムコントローラーに送信されます。ただし、受信機はアラーム動作を行うことはできません。

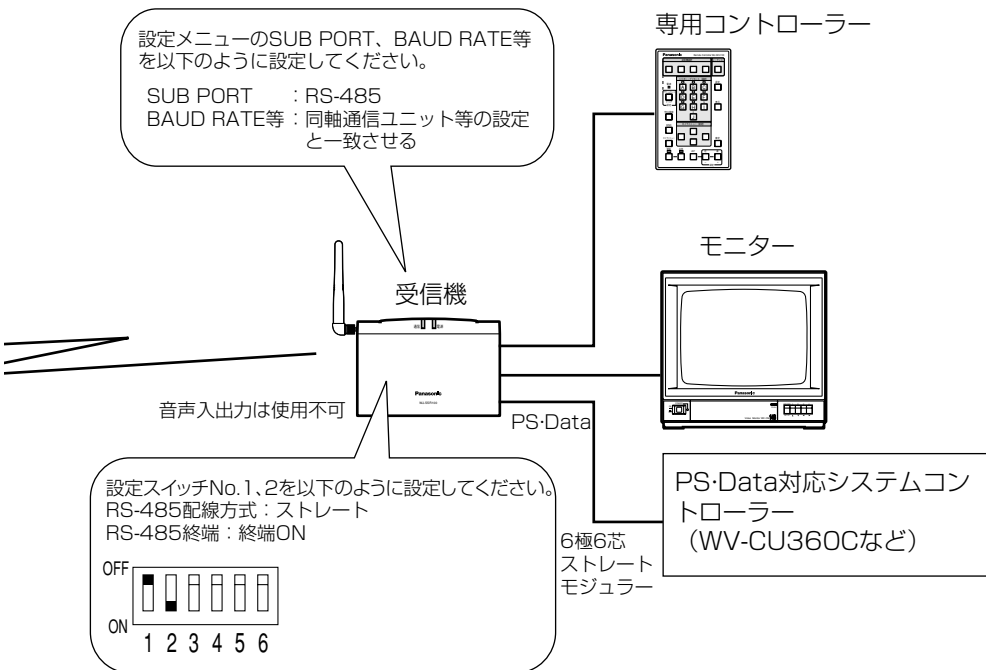
システム接続例

PS・Data対応コントローラーで複数のカメラを操作する



使用形態

- ・ PS・Data対応コントローラー(WV-CU360Cなど)で、同軸通信ユニットおよび同軸通信ユニットに接続されたカメラを操作できます。
- ・ カメラメニューを呼び出し、カメラの機能を設定できます。



重要！

- ・ 同軸通信ユニット(WJ-MP204)が別途必要です。同軸通信ユニットはPS-Dataモードでのみ使用できます。
- ・ 複数台のカメラをダイジーチェーンで接続して使用することはできません。
- ・ 専用コントローラーでカメラの操作はできません。
- ・ システムコントローラーは増設できません。
- ・ 伝送遅延を小さくするためには以下のことをお守りください。
 - ・ 中継機を使用しない。中継機を使用する場合、受信機の設定メニューのVIDEO RATEは「AUTO」に設定してください。
 - ・ 受信機の設定メニューのQUALITYに「NORMAL」または「ROUGH」に設定してください。

アラーム・トリガー端子について

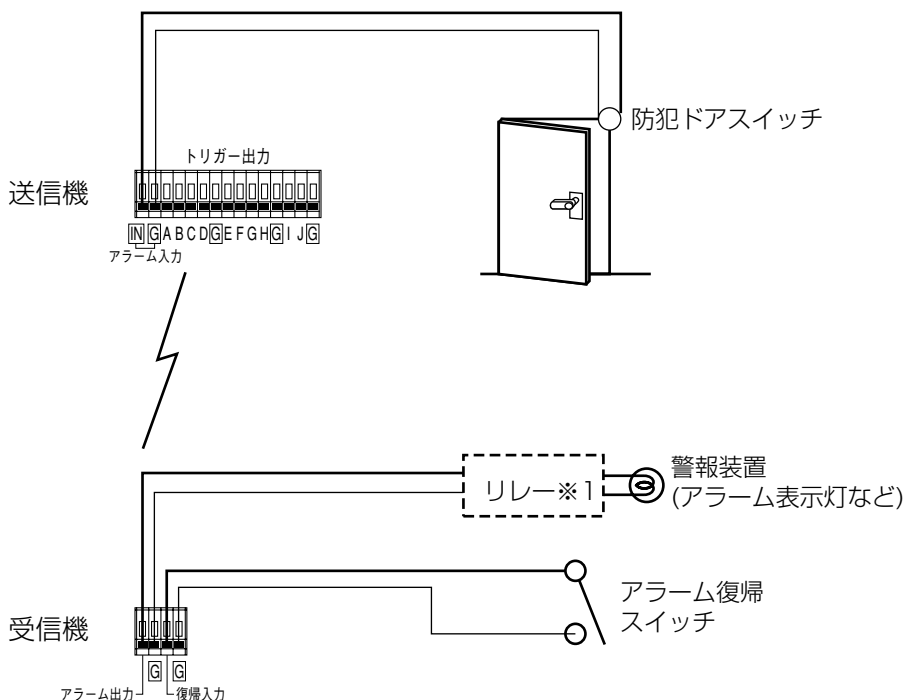
アラーム入出力の使いかた

センサーなどのアラーム機器は送信機のアラーム入力に接続します。アラーム機器が動作すると、受信機にアラーム信号が伝送されます(伝送時、約500ms遅延が発生します)。

受信機がアラーム信号を受信すると、設定に従ってアラーム動作を行います。

受信機のアラーム出力に、アラーム表示灯などの警報装置を接続すれば、アラーム動作と連動して警報装置を動作させることもできます。

接続例

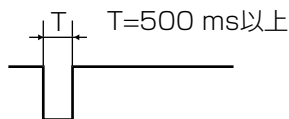


※1: リレーは必要に応じて取り付けること。

アラーム入力について(送信機)

以下の仕様に適合するアラーム機器を接続できます。

メイク接点*、パルス幅500 ms以上（500 ms以下の信号を入力すると、誤動作の原因となります）



*メイク接点：接点がGNDピンに接続されたときメイクとなります。

アラーム入力について

以下の仕様に適合するアラーム機器を接続できます。

- ・動作電圧がDC5V以下であること（オープンコレクタ出力またはメイク接点）
- ・メイク接点動作時のアラーム入力とGND端子間の電圧が0~0.2 Vになること
- ・チャタリングしないこと(接点が何回も断続動作しないこと)

アラーム出力について(受信機)

送信機のアラーム入力にアラーム信号が入力されると、受信機はアラーム出力に接続した機器にアラーム信号を出力します。アラーム信号は以下の条件が満たされるまで出力し続けます。

- ・設定メニューのALARM OUTPUTに設定した時間が経過する。
- ・アラーム復帰ボタン(アラーム復帰入力に接続したスイッチ)をONにする。

アラーム出力端子には、以下の仕様に適合する警報装置を接続できます。必要に応じてリレーなどを接続してください。

オープンコレクタ、DC 12 V（最大動作電圧 DC 25 V） 最大50 mA（電源は外部にて供給してください）

—重要！—

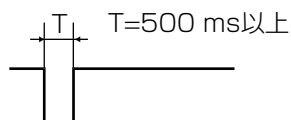
無線状態が悪化すると、誤動作する場合があります。

アラーム・トリガー端子について

復帰入力について(受信機)

復帰入力に外部スイッチを接続すれば、接続した外部スイッチでアラーム動作を解除できます。外部スイッチを接続する場合は、以下の仕様に適合するスイッチを接続してください。

メイク接点、パルス幅500 ms以上（500 ms以下の信号を入力すると、誤動作の原因となります）

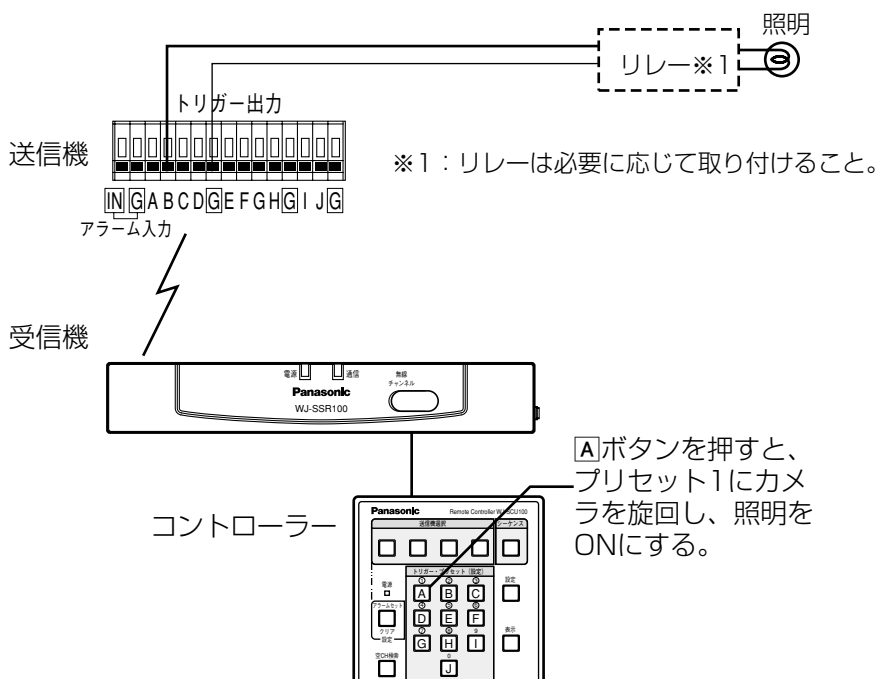


トリガー出力の使いかた

トリガー出力端子A~Jはコントローラーのトリガー出力/プリセットボタン[A]~[J]に対応しています。

トリガー出力/プリセットボタンを押すと、対応するトリガー出力端子からパルスが出力されます(A~Gはカメラのプリセット操作と連動、IおよびJはトリガー出力専用)。このパルスを利用して、トリガー出力端子に接続した機器を制御することができます(例えば照明のON/OFFなど)。

接続例



[A]ボタンを押すと、プリセット1にカメラを旋回し、照明をONにする。

トリガー出力について(送信機)

以下の仕様に適合する警報装置を接続できます。必要に応じてリレーなどを接続してください。

オープンコレクタ、DC 12 V (最大動作電圧DC 25 V) 最大50 mA (電源は外部にて供給してください)

コントローラーとアンテナの接続

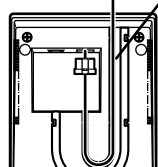
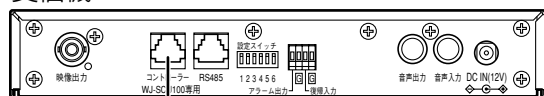
コントローラーの接続

操作するとき、コントローラーは受信機に接続します。送信機を設定するときには送信機に接続します。

コントローラーは、受信機(または送信機)のコントローラーポートに接続します。

下図は受信機にコントローラーを接続するときの接続図です。

受信機

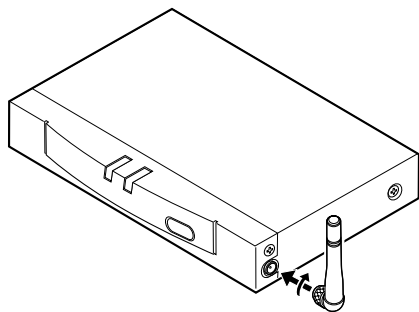


モジュラーケーブルは
ケーブルガイドに差し込む

コントローラー(底面)

アンテナの取り付けかた

右図のように付属のアンテナを取り付けます。外部アンテナを使用する場合も同様に取り付けてください。

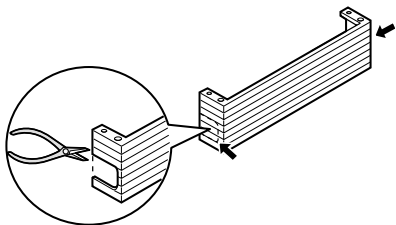


設置のしかた

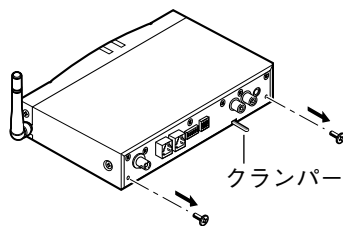
端子カバーの取り付けかた

ケーブルの接続が完了後、端子カバー(付属)を取り付けてください。

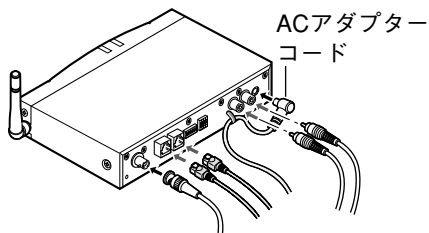
- 1 側面から配線する場合、ニッパーなどで端子カバーの側面(薄くなっている部分)をカットします。



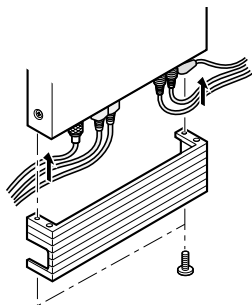
- 2 後面パネル下側のねじ2本を外します。



- 3 ケーブルを接続します。ACアダプターコードはクランパーで固定してください。



- 4 図のように、端子カバーを手順2で外したねじでしっかりと固定します。

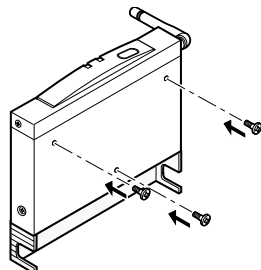


設置のしかた

壁面への取り付けかた

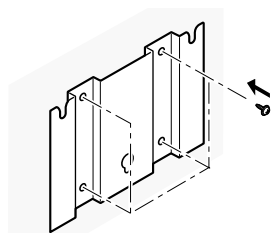
壁面に取り付ける場合、壁掛用金具(付属)をご使用ください。

- 1 本機底面(3か所)に付属の本体用取付ねじを取り付けます。

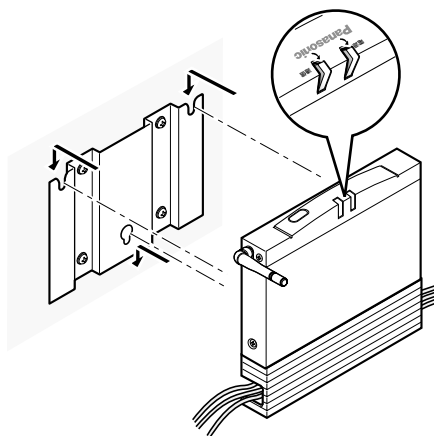


- 2 壁面に壁面取付金具(付属)を取り付けます。

壁掛け用金具取付ねじ(付属)
4本でしっかりと固定してください。



- 3 右図のように、本機を壁面取付金具に取り付けます。必要に応じて、LED部を引き起こすことができます。



—警告! —

- ・取り付け後、落下防止処置を行ってください。落下防止処置を行わずに使用すると、地震や震動などで本機が落下し、けがの原因となります。
- ・収納ボックスを使用する場合、放熱ファン組込型のものを使用してください。密閉型の収納ボックスを使用すると内部温度が上昇し故障や誤動作の原因となります。詳しくは販売店にご相談ください。

別売り品について

品名	備考
コントローラー (WV-SCU100)	SS画像無線伝送システム専用コントローラー
・SS画像無線用八木アンテナキット (指向性) ・SS画像無線用コリニアアンテナキット (無指向性)	(株) 横浜ビジネスサービス扱い 品番など詳細については販売店へお問い合わせください。
屋外/軒下用電工ボックス	推奨品扱い。品番などについては販売店へお問い合わせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
-----	-----------	-------

●送信機・受信機共通

受信機（または送信機）の電源ランプが点灯しない	▶ <ul style="list-style-type: none">• ACアダプターが正しく接続されていない。電源プラグがACコンセントに差し込まれていない。• AC電源プラグを正しくコンセントに接続してください。	19
-------------------------	---	----

●受信機・コントローラー共通

モニターに「受信状況」などの情報が表示されない	▶ <ul style="list-style-type: none">• 受信機が情報を表示しないモードになっている。 コントローラーの [表示] ボタンを押してください。	23
	<ul style="list-style-type: none">• 受信機が起動直後の状態になっている。 コントローラーの [表示] ボタンを押してください。ただし、電源を入れた後、約7秒間は表示されません。7秒経過後に情報が表示されます。	23

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
<p>モニターに「受信状況」などの情報が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> カメラメニューモードになっている。(コントローラーのカメラメニューランプが点灯していませんか?) <p>コントローラーの [カメラメニュー] ボタンを2秒以上押ししてください。</p> <p>それでも情報が表示されない場合は、[表示] ボタンを押ししてください。</p>	<p>45</p>

●受信機

<p>選択した送信機のカメラ映像が表示されず、ブルーバックになる</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターに「？」表示はない。(送信機との通信は正常) 	<ul style="list-style-type: none"> 送信機にカメラが接続されていない 送信機に接続されたカメラの電源が入っていない。 <p>送信機に正しくカメラを接続してください。カメラの電源も確認してください。</p> <p>※送信機の映像出力端子にモニターを接続することで、カメラから映像信号が出力されているかどうかを確認できます。</p>	<p>54</p>
<ul style="list-style-type: none"> 送信機の通信ランプは点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 送信機の設定メニューが開いたままになっている。 <p>送信機にコントローラーを接続し、[設定] ボタンを2秒以上押し、設定メニューを終了させてください。</p>	<p>34</p>

故障かな!?

症 状

選択した送信機のカメ
ラ映像が表示されず、
ブルーバックになる

- モニターに「？」表示がある。(送信機と通信できない)
- 送信機の通信ランプが消灯

原 因 ・ 対 策

参照ページ

• 送信機の電源が入っていない。
または中継用の送信機の電源が入っていない。
ACアダプターを正しく送信機に接続してください。
中継機を設定している場合は、
中継用の送信機の電源も確認してください。(電源ランプが点灯しているか確認してください)

19

• 送信機のチャンネル設定が受信機と一致していない。
受信機と送信機のチャンネルは同じ設定にしてください。中継機を設定している場合は、中継用の送信機のチャンネルも同様に確認してください。

17, 58

• 送信機の送信機番号設定が間違っている。
送信機番号は、1~4の範囲で設定してください。その際、同一システム内に同じ番号が存在しないようにしてください。

18, 58

• 送信機の「スクランブルキー選択 (KEY SELECT)」設定が受信機と一致していない。
受信機と送信機の設定を同じにしてください。

34

症 状

選択した送信機のカメラ映像が表示されず、ブルーバックになる

- ・モニターに「？」表示がある。(送信機と通信できない)
- ・送信機の通信ランプが消灯

原 因 ・ 対 策

参照ページ

- ・送信機の「スクランブル選択 (KEY SELECT)」設定を「MANUAL」に設定していて、送信機のシステムIDとパスワードの設定が受信機と一致していない。
受信機と送信機の設定を同じにしてください。

34

- ・設定メニューの送信機登録 (REGISTRATION) の設定が間違っている。
以下の設定を確認してください。
 - ・ 設置していない番号の送信機を中継用に設定していないか
 - ・ 電波の届かないルートで設定していないか

39

- ・受信機、または送信機のアンテナが正しく接続されていない。
受信機、送信機それぞれのアンテナを正しく接続してください。

74

故障かな!?

症 状

選択した送信機のカメラ映像が表示されず、ブルーバックになる

- モニターに「？」表示がある。(送信機と通信できない)
- 送信機の通信ランプが消灯

選択した送信機のカメラ映像が正常に表示されない
(例：映像が乱れる、ブルーバックになる、異なる送信機の映像が入り乱れる、「ERROR」が表示される、など)

原 因 ・ 対 策

参照ページ

• 装置間の距離（受信機と送信機の間、中継機用の送信機間）が遠すぎて、電波が届かない。通信を行う機器間は適切な距離にしてください。

52

• 装置間（受信機と送信機の間、中継機用の送信機間）に障害物があり、電波が届かない。通信を行う装置間にできるだけ障害物がないように設置してください。

52

• 付近に強力な電波の発信源があり、通信妨害されている。空きチャンネルの探索を行い、妨害電波のより少ないチャンネルを設定してください。

26

• 付近に設定メニューのスクランブルキー選択が「DEFAULT」に設定された装置が存在する。設定メニューのスクランブルキー選択は「MANUAL」に設定することをお勧めします。空きチャンネルの探索を行い、妨害電波のより少ないチャンネルを設定してください。

34

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
<p>選択した送信機のカメラ映像が正常に表示されない (例：映像が乱れる、ブルーバックになる、異なる送信機の映像が入り乱れる、「ERROR」が表示される、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 同じ送信機番号の送信機が複数使用されている。同じシステム内で複数の送信機を使用する場合、それぞれ別の番号を設定してください。 	<p>18, 58</p>
<p>音が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • マイクロホンやアンプ付きスピーカーへの音声入出力が正しく接続されていない。音声の入力端子、出力端子に正しく接続してください。 • サポート (SUB PORT) が「AUDIO」または「CAM-CTR」に設定されていない。「AUDIO」または「CAM-CTR」に設定してください。 	<p>— 36</p>
<p>アラーム動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 送信機のアラーム入力端子にセンサーなどのアラーム機器が正しく接続されていない。正しく接続してください。送信機の映像出力端子にモニターを接続すると、センサー入力時に「ALM」が表示され、接続を確認できます。 	<p>70</p>

故障かな!?

症 状

アラーム動作しない

送信機に接続されたカメラをコントローラーで操作できない

原 因 ・ 対 策

参照ページ

• 設定メニューの送信機登録 (REGISTRATION) で「REG」の設定が「YES」になっていない。
「YES」に設定してください。

39

• 設定メニューの送信機登録 (REGISTRATION) で「ALM」の設定が「OFF」になっている。
「ON」に設定してください。

39

• カメラのRS-485制御端子が送信機のRS-485端子と正しく接続されていない。(ケーブルが外れているなど)
正しく接続してください。

54, 56

• 設定メニューのサブポート (SUB PORT) が「CAM-CTR」に設定されていない。
「CAM-CTR」に設定してください。

36

• 以下のシリアル通信設定がカメラと一致していない。
・ 設定メニューのボーレート (BAUD RATE) などの項目
・ 送信機のRS-485端子設定 (ディップスイッチ)
正しく設定してください。

37, 56

症 状

原 因 ・ 対 策

参 照 ペ ー ジ

受信機に接続したコントローラーで送信機側の外部機器を操作できない

• 受信機または送信機のRS-485端子と外部機器が正しく接続されていない。(ケーブルが外れているなど)
正しく接続してください。

54, 56

• 設定メニューのサポート (SUB PORT) が「CAM-CTR」に設定されていない。「CAM-CTR」に設定してください。

36

• 以下のシリアル通信設定がカメラと一致していない。
・ 設定メニューのボーレート (BAUD RATE) などの項目
・ 受信機または送信機のRS-485端子設定 (ディップスイッチ)
正しく設定してください。

37, 56

コントローラーで操作できない

• カメラメニューモードになっている。(コントローラーのカメラメニューランプが点灯していませんか?)
コントローラーの [カメラメニュー] ボタンを2秒以上押し、カメラメニューモードを終了させてください。

45

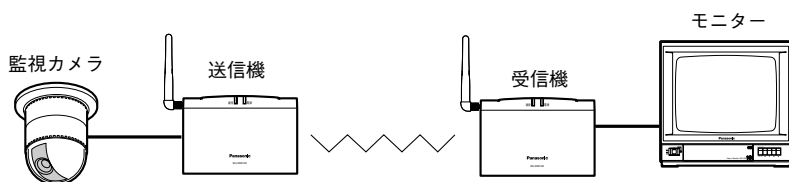
システム構築例と作業手順

ここでは、本機を使った映像監視システムの構築例と構築に必要な作業手順を説明しています。システムを構築する際に参考にしてください。

<システム構築例1>

- ・受信機1台、送信機1台でシステム構築
- ・設定メニューのスクランブルキー選択は「DEFAULT」のまま

受信機1台、送信機1台のシステムの場合、接続するだけで利用できるになるので、設置前の動作確認として使用することもできます（設定作業不要）。



- 1 送信機と受信機の無線チャンネルが同じであることを確認します。
(→17ページ)
工場出荷時、送信機および受信機の無線チャンネルは「5」に設定されています。
- 2 送信機にカメラを接続し、受信機にモニターを接続します。
- 3 送信機および受信機にACアダプターを接続し、電源を入れます。(→19ページ)
モニターにカメラ映像が表示されます。

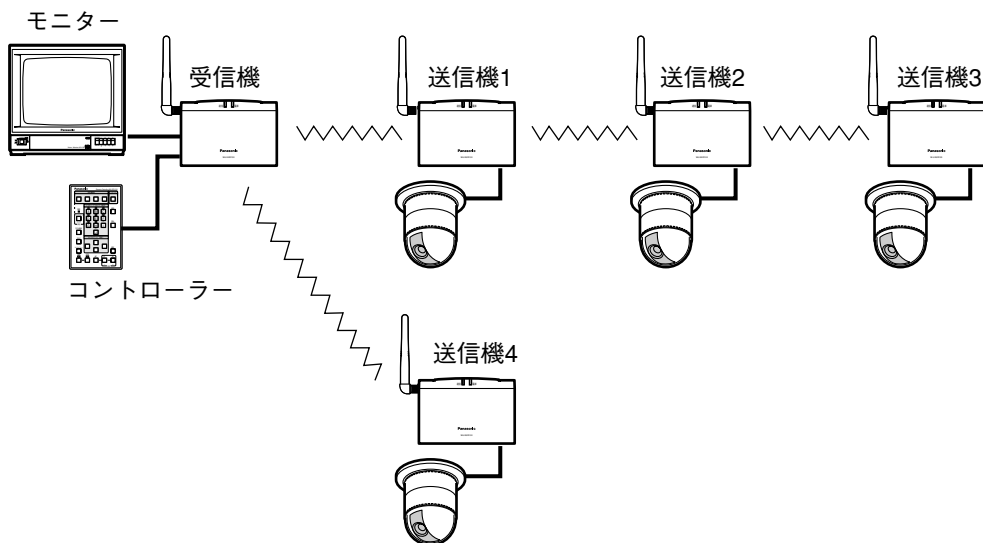
—重要！—

設定メニューのスクランブルキー選択を「DEFAULT」のまま使用している場合、付近に同じ条件で構築された機器が存在すると、以下のような現象が発生する場合があります。以下の現象を防止するためにもスクランブルキーは「MANUAL」に設定することをお勧めします。

- ・他の受信機で通信を傍受される
- ・お互いのシステムが干渉し、動作に異常をきたす

<システム構築例2>

- ・受信機1台、送信機4台でシステム構築
- ・設定メニューのスクランブルキー選択は「DEFAULT」のまま



- 1 送信機と受信機の無線チャンネルが同じであることを確認します。
(→17ページ)
工場出荷時、送信機および受信機の無線チャンネルは「5」に設定されています。
- 2 送信機の送信機番号をそれぞれ別の番号に設定します。(→18ページ)
(例：送信機1：「1」、送信機2：「2」、送信機3：「3」、送信機4：「4」)
- 3 各送信機にカメラを接続し、受信機にモニターとコントローラーを接続します。
- 4 送信機、受信機それぞれにACアダプターを接続し、電源を入れます。
(→19ページ)
モニターに送信機1に接続されているカメラ映像が表示されます。また、送信機2～4は受信機との通信は行っていないため、通信ランプは消灯したままです。

システム構築例と作業手順

- 5 受信機に接続されたコントローラーの「設定」ボタンを2秒以上押します。
→パスワード入力画面が表示されます。

- 6 数字4けたのパスワードを入力し、コントローラーの [▲]ボタンを押します。
(工場出荷時は「0000」が設定されています)

```
          PASSWORD?  
  
PASSWORD      :  ****
```

→設定メニューの送信機登録 (REGISTRATION) 画面が表示されます。

- 7 送信機の接続のしかたを決定し、送信機登録を行います。
構築例2の接続の場合、以下のように設定します。

```
          SETUP MENU 4/4  
  
REGISTRATION :  
  
   REG RLY1 RLY2 ALM NAME  
1 YES OFF  --- OFF OFF  
2 YES 1    OFF OFF OFF  
3 YES 1    2    OFF OFF  
4 YES OFF  --- OFF OFF
```

- 送信機1は中継機無しで接続。
- 送信機2は中継機1台で接続。中継機は送信機1。
- 送信機3は中継機2台で接続。中継機は受信機に近い方が送信機1、受信機から遠い方が送信機2。
- 送信機4は中継機無しで接続。

-
- 8** コントローラーの「設定」ボタンを2秒以上押し、設定メニューを終了します。
- すべての送信機が受信機と通信を開始します。モニター表示はカメラの映像に戻ります。送信機、受信機とも通信ランプが緑色に点滅します。

—重要！—

複数の送信機を使用する場合は、必ず別々の送信機番号を設定してください。同一システム内に同じ番号の送信機が存在すると、以下のような現象が発生します。

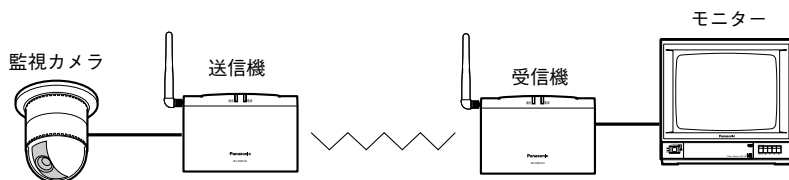
また、設定メニューのスクランブルキー選択を「DEFAULT」のまま使用し、付近に同じ条件で構築された機器が存在する場合も、以下のような現象が発生する場合があります。以下の現象を防止するためにもスクランブルキーは「MANUAL」に設定することをお勧めします。

- ・他の受信機で通信を傍受される
 - ・お互いのシステムが干渉し、動作に異常をきたす
-

システム構築例と作業手順

<システム構築例3>

- 受信機1台、送信機1台でシステム構築
- 設定メニューのスクランブルキー選択を「MANUAL」に設定
(システムIDとパスワードを組み合わせると通信を暗号化します)



- 1 送信機と受信機の無線チャンネルが同じであることを確認します。
(→17ページ)
工場出荷時、送信機および受信機の無線チャンネルは「5」に設定されています。
- 2 送信機にカメラとモニター、コントローラーを接続し、受信機にはモニターとコントローラーを接続します。
(送信機に接続するモニターとコントローラーは、スクランブルキーを設定するためのものです。受信機に接続しているものと兼用して使用することも可能です)
- 3 送信機、受信機それぞれにACアダプターを接続し、電源を入れます。
(→19ページ)
モニターにカメラ映像が表示されます。
- 4 受信機に接続されたコントローラーの「設定」ボタンを2秒以上押します。
→パスワード入力画面が表示されます。

- 6** 数字4けたのパスワードを入力し、コントローラーの [▼]ボタンを押します。
(工場出荷時は「0000」が設定されています)

```
PASSWORD?  
  
PASSWORD      : ****
```

→設定メニューの最初の画面が表示されます。

- 7** 設定を以下のように変更します。
- ・スクランブルキー選択 (KEY SELECT) : MANUAL
 - ・パスワード: 任意に設定

```
SETUP MENU 1/4  
  
KEY SELECT    : MANUAL  
SYSTEM ID    : (01234567)  
PASSWORD     : ****
```

—重要！

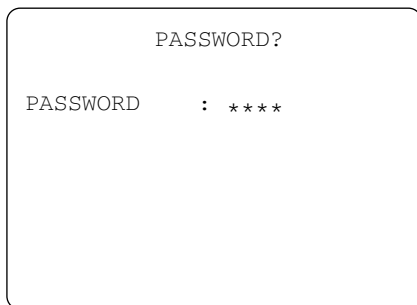
送信機を設定する際に必要になりますので、システムIDとパスワードを控えておいてください。

- 8** コントローラーの [設定] ボタンを2秒以上押し、設定メニューを終了します。

システム構築例と作業手順

9 送信機に接続されたコントローラーの「設定」ボタンを2秒以上押します。
→パスワード入力画面が表示されます。

10 数字4けたのパスワードを入力し、コントローラーの [▼]ボタンを押します。
(工場出荷時は「0000」が設定されています)



```

          PASSWORD?

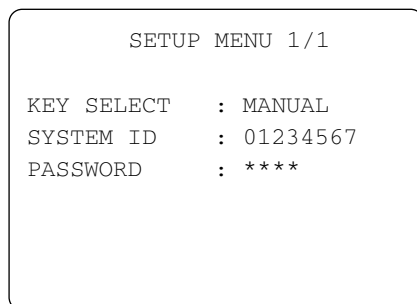
PASSWORD : ****

```

→設定メニューの最初の画面が表示されます。

7 設定を以下のように変更します。

- ・スクランブルキー選択 (KEY SELECT) : MANUAL
- ・システムID : 受信機と同じシステムIDを設定
- ・パスワード : 受信機と同じパスワードを設定



```

          SETUP MENU 1/1

KEY SELECT : MANUAL
SYSTEM ID  : 01234567
PASSWORD   : ****

```

11 コントローラーの〔設定〕ボタンを2秒以上押し、設定メニューを終了します。
→送信機と受信機のスクランブル通信が開始されます。モニターにカメラの映像が表示されます。送信機、受信機とも通信ランプが橙色に点滅します。

12 送信機に接続したモニターとコントローラーを外します。
(受信機と兼用で使用していた場合は、受信機に接続してください)

— **重要!** —

設定したシステムIDとパスワードを忘れないように注意してください。また、他人に知られないよう、大切に保管してください。

パスワードを忘れた場合は、販売店にお問い合わせください。

— **補足!** —

受信機1台、送信機を複数台使用する場合も、構築例3と同様にすべての送信機に受信機と同じシステムIDとパスワードを設定してください。

SETUP MENU設定項目一覽

受信機	送信機	MENU #	設定項目	範囲	備考
●	●	1/4 (1/1)	KEY SELECT	<u>DEFAULT</u> MANUAL	
●		1/4	SYSTEM ID	00000000~ 99999999	出荷時に機器ごとに 固有番号設定済み(変 更不可)
	●	1/1	SYSTEM ID	<u>00000000</u> ~ 99999999	
●	●	1/4 (1/1)	PASSWORD	<u>0000</u> ~9999	
●		2/4	VIDEO SIZE	<u>CIF</u>	変更不可
●		2/4	QUALITY	FINE/ <u>NORMAL</u> / ROUGH	
●		2/4	VIDEO RATE	<u>UNIFIED</u> /AUTO	
●		2/4	SUB PORT	OFF/AUDIO/ RS-485/ <u>CAM-CTR</u>	
●		2/4	BAUD RATE	2400/4800/ 9600/ <u>19200</u>	
●		2/4	DATA BIT	7/ <u>8</u>	
●		2/4	PARITY CHECK	<u>NONE</u> /EVEN/ ODD	
●		2/4	STOP BIT	<u>1</u> /2	
●		3/4	COM.WARNING	OFF/ <u>ON</u>	
●		3/4	SEQ.TIME	5~60(<u>10</u>)	秒 (整数)
●		3/4	ALARM OUTPUT	OFF/1~300 (<u>10</u>)/EXT	秒 (整数)
●		4/4	REG	NO/YES/RLY	送信機2~4はNO
●		4/4	RLY1	<u>OFF</u> /1~4	
●		4/4	RLY2	<u>OFF</u> /1~4	
●		4/4	ALM	OFF/ <u>ON</u>	送信機2~4はOFF
●		4/4	NAME	<u>OFF</u> /ON	

下線または括弧内の数字は工場出荷時の値を示す。(1/1)は送信機のMENU #を示す。

設定スイッチ設定項目一覧

スイッチカバー内

受信機	送信機	スイッチ名	範囲	出荷時設定
●	●	無線チャンネル	1～A	5
	●	送信機番号	1～4	1

設定スイッチ(後面)

受信機	送信機	スイッチ#	設定項目	スイッチ	出荷時設定
●	●	1	RS-485配線方式	<u>OFF</u> ON	ストレート クロス
●	●	2	RS-485終端 (ストレート配線時)	OFF <u>ON</u>	終端OFF 終端ON
●	●	3	RS-485終端 (クロス配線時)	OFF <u>ON</u>	終端OFF 終端ON
	●	4	映像同期方式	<u>OFF</u> ON	外部同期 内部同期
	●	5	アンテナタイプ1	<u>OFF</u> ON	手動 ダイバシティ
	●	6	アンテナタイプ2	<u>OFF</u> ON	外部アンテナ 内部アンテナ

下線は工場出荷時の設定を示す。

仕様

・基本項目

項目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
電源	DC 12 V(付属ACアダプターAC100 V 50/60 Hz)	
消費電力	約7 W	
周囲温度範囲	0 °C ~ +45 °C	
寸法	幅 210 mm × 高さ 142.5 mm × 奥行き 34 mm (アンテナ、ゴム足、突起部除く)	
質量	約730 g	
仕上げ	新OAアイボリー(マンセル5.5Y7.5/0.3近似色)	

・無線系

項目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
無線規格	ARIB-STD-T66	
送信出力	10 mW/MHz以下	
無線チャンネル数	10チャンネル(ただし、同時に使用できるチャンネル数は5チャンネル)	
使用周波数帯	2 400 MHz~2 483.5 MHz	

・画像系

項目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
映像入力	コンポジット映像信号 1 V[p-p]/75 Ω、 自動終端、BNC	なし
映像出力	コンポジット映像信号 1 V[p-p]/75 Ω、自動終端、 BNC	
画像コーデック	H.263(最大1 Mbps)、約20fps/CIF	
遅延時間	約 500 ms	

・音声系※

項 目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
音声入力	ライン入力、-10 dBV/10 kΩ	
音声出力	ライン出力、-10 dBV/10 kΩ	
音声コーデック	PCM(64 kbps)	
遅延時間	約 200 ms	

・シリアル系※

項 目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
RS-485端子	モジュラー端子	
通信速度	2400/4800/9600/19200 bps	
遅延時間	約 200 ms	

・パラレル系

項 目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
復帰入力	なし	1系統
アラーム出力	なし	1系統
トリガ出力	オープンコレクタ×10	なし
アラーム入力	1系統	なし
遅延時間	約 250 ms	

※RS-485と音声入出力を同時に使用することはできません。

・操作系

項 目	送信機WJ-SST100	受信機WJ-SSR100
コントローラー WJ-SCU100専用 端子	モジュラー端子 (独自仕様)	

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このSS画像無線伝送システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

78ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、ACアダプターを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	SS画像無線伝送システム
品 番	WJ-SST100/SSR100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

この商品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当しますので、輸出する場合は同法に基づく輸出許可が必要です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	WJ-SST100/SSR100
販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410